

# 三世浅草庵黒川春村の門人たち

— 解題・翻刻『草庵五百人一首』 付、人名索引 —

石川了

## 一、はじめに

清宮秀堅の『古学小伝』（明治十九年刊）によって、「内藤広前ト都下ニ二人ノ物シリナリ」と評された幕末の国学者・黒川春村はまた、浅草庵市人、大垣守舎と続いた狂歌庵号の三世を継いだ狂歌作者でもあった。その国学分野においてはすでに、玉林晴朗氏「黒川春村と其の著述」（『書物展望』第九卷十二号、昭和十四年十二月）や、柴田久恵氏「黒川春村」（昭和女子大学光葉会「学苑」三〇三号、昭和四十年三月）等の先行研究が備わるのに対し、狂歌分野の研究状況は等閑視されているというに等しい。

そこで近時、浅草庵の代々について述べる機会があった（拙稿「三世浅草庵としての黒川春村」〈隔月刊「文学」第八卷三号、平成十九年五月〉）ので、ここにその余勢を駆って資料紹介することとした。

## 二、解題

春村編『草庵五百人一首』はその狂歌門人録（後述のように、一部先代の守舎内人も含んでいよう）ともいふべき書で、この分野での広

がりが知られる好資料である。まず書誌から記す。

底本 大妻女子大学図書館所蔵本。

書型 大本（縦二六・九糎、横糎十八・八）三卷三冊。

表紙 原表紙（薄香色無地。直径四・五糎の黄色円形紋散らし）の左肩に、水色地の枠なし原題簽「草庵五百人一首（一〇三）」。

構成 卷一 五十三丁（漢文序一丁半「序一」、序二〈表〉、和文序二丁「序三」、序四）、凡例一丁半「序五」、序六

〈表〉、目録五丁「一ノ目録初〜一ノ目録五」、本文

四十二丁「一ノ初〜一ノ四十二終」。

卷二 四十七丁（目録五丁「二ノ目録初〜二ノ目録五」、

本文四十二丁「二ノ初〜二ノ四十二終」。

卷三 四十六丁（目録五丁「三ノ目録一〜三ノ目録五」、

本文四十一丁「三ノ初〜三ノ四十一終」。

本文 半丁単位で四周双辺（縦一九・七糎、横糎十四・五）。

板心 「草庵五百人一首 壺印（丁付）」（壺印は、後掲図版の各

丁オ左端の柱部分参照）。

序跋 「天保癸巳冬十一月／錦園 天野好之」漢文序と、「千種庵のふた世のあるし／口網諸持」和文序。跋ナシ。

凡例 「天保四年十二月 黒河春村」凡例。

刊記 ナシ

版下 題簽を含めて春村自筆と推定（前掲玉林稿によれば、春村

は叔父の西村藐庵に近衛三藐院流の書を学んだという）。

いささか補足すると、各巻目録は入集者の氏名を掲げ、各下部にその略伝を付す。また各本文は、半丁毎に一人の入集者像（墨印。画者不明）とその詠一首を載せる。つまり巻一と巻二には、それぞれ八十四名が、また巻三には八十二名、合計二五〇名が収録されている。

本書は冒頭に市人、守舎、春村を掲げているから、三代にわたる浅草庵を念頭に編集されており、狂歌集であることは明らかである。その刊行は、漢文序と凡例が天保四年暮れ近くに記されていることからして、翌同五年春のことと思われる。春村は先代守舎が没した天保二年二月二十日の翌月、三月二十日に浅草並木町巴屋にて浅草庵三世の襲名披露を行っている（春村著『壺すみれ』）から、精力的な編集だつたに相違ない。襲名は時に春村三十三歳のことであった。

漢文序者の天野好之は三谷堯民とも称した漢学者で、和文序者の二世千種庵諸持は初代千種庵ともども春村と親交があった狂歌作者である。二つの序文は春村の伝記資料としても有益であるが、それについては翻刻に直接つかれたい。

興味深いのは、春村自ら記した凡例である。その中に「他門の作者を交へず、社友のかきりをつとへ」たとあり、「拾遺をものせんとす」という。予定の半数しか収録していないから、本書は当初六冊本を予定していたとも思われ、別途本企画以外の拾遺を考えていたのかも知れない。言うまでもなく、すべて狂歌の門人たちが対象である。また画像は「作者の風俗、年齢など、その人といたくたかへるも多かり。こは古風を専らにして、似せ絵にはかゝつらはねはなり」と記しているが、趣や風情は多少なりとも残っているよう。さらに衣冠法衣や器財調度の絵などは、識者の教示を待って僻事を正そうという。まさに国学者としての考証癖を窺わせる。

ところで本書については、茶梅亭文庫主の中野真作氏ご所蔵本を拝見する機会を得た。その巻三末尾には、左の摺物が添付されている。

舌代

五百人一首三巻出来、差上申候。右は先年、発起人故人に相成、かつ近年殊の外、紙払底にて延引いたし、其上子細有之候而、無抛なかは彫刻をも改め、彼是存外の雑費相掛候間、若右等之儀、尤にも被思召候諸君は、定例之外、金式朱宛御入銀希候。尚又四の巻取集の儀は、近々報条を以て御案内申上候。以上。（壺印）

執事

これによれば、後半の三巻三冊は入花による資金繰りが苦しく、編集刊行が滞っている事情が窺い知れる。結局未刊のままに終わったと思われる。また同文中には「右は先年、発起人故人に相成」ともあり、その発起人とは、前述の天保二年二月没の先代浅草庵守舎を指すと思われることから、入集者二五〇名の内には、先代からの壺側（浅草庵代々の門人の総称）メンバーも含まれているとみて間違いあるまい。

その面々を地域的に見ると、東は陸奥国から西は近江国、北は富山から南は伊勢にまで及ぶ。また上野国とその隣国の下野国が目立つのは、先代の守舎が上野国大間々の人だったことに起因しており、その関係もあって春村自身も、数度にわたって上毛に出かけている（前出拙稿）。なお、四世浅草庵の高橋広道が入集していないのが気になるが、広道はこの時まで郷里の尾張国熱田におり、その入門は、二度目の江戸行で東都滞在中の天保六年と思われることを、拙稿「笠亭仙果の狂歌本」（『書誌学月報』第四十三号、平成三年八月）で指摘した。

ところで、本稿末尾の人名索引からも分かるように、入集者にはまた家族や一族で入集している者も目につく。その一々については触れないが、巻一に春村の妹「簀子」、巻二に同妻「綾刀自」がいる。両人の特に像は珍しいと言えるが、綾刀自は残念ながら後ろ姿である。そこで春村の他の編撰書にあたってみると、春村・檜園梅明・千種庵諸持撰『狂歌百才子伝』（天保年間刊。雪鷲画。千蓋庵・千束庵合梓）

の挿絵に見開きの左図があった。向かって右から壺常亭道守、文字楼本成、綾刀自、浅醉庵、青雲亭の五人で、青雲亭以外の四名は『草庵五百人一首』にも入集している。



『狂歌百才子伝』（大妻女子大学図書館蔵）

三世浅草庵黒川春村の門人たち

### 三、翻刻・人名索引

凡例

- 一、掲載は翻刻、図版釈文、図版、人名索引の順とした。
- 一、図版だけは、巻単位ではなく巻一から巻三まで一括掲載とした。
- 一、原本の丁移りは、その末尾に「(丁付)オ」「(丁付)ウ」の表記で示した。
- 一、和文序、凡例、目録の略伝には、句読点のみを私的に施した。
- 一、漢字はおおむね通行の字体を用いたが、一部原本通りとした。
- 一、目録に掲載された人物には、便宜上001～250までの三桁通し番号を付し、図版釈文、図版、人名索引にもこれを用いて対応させた。
- 一、人名索引では、前項名同上の「同」に、該当前出文字を充てた。
- 一、人名の読みは、一部恣意的におこなった。

【補記】 本稿での翻刻と図版掲載を許された大妻女子大学図書館と、貴重な資料の披見とご教示を賜わった中野真作氏に心よりお礼申し上げます。

### 草庵五百人一首（外題）

狂歌者、和歌之流也。和歌之作、於尚古、雖其体未具、高矣、美矣。爾後詞傑輩出、至称「歌中神仙」、非後人之所「能彷彿」也。嬌鶯囀、花、悲蟬咽、柳、各奏「天籁」、禽虫微物、所「不害」己。况万物之「靈乎」、和歌狂歌豈可「偏廢」乎。黒川春村、江戸浅草里賈人也、少好「和歌」、兼善「狂歌」、嘗(序「一才」)学於浅草庵市人、業已成、讓「資」於其弟、留「連」於風月、遣「遙」於煙霞、其師逝、高足守舍、又没、於是同社咸推「春邨」為「主盟」、乃浅草庵第三伝者也。邇者從遊、遐者書問、不「出」戸而接「海内」之人、今茲癸巳、社友相謀、各以「狂歌一首」、鏤「梓」、得「五百首」、可謂「富矣」、余就「先

輩各家狂歌<sup>二</sup>而論<sup>レ</sup>之、其旨幽、其(序一ウ)韻高、去<sup>三</sup>和歌、毫髮之間耳、此集之成、使<sup>下</sup>天下後世、觀<sup>中</sup>今日之盛<sup>上</sup>、不<sup>二</sup>無快<sup>一</sup>乎。

天保癸巳冬十一月

錦園 天野好之識

印(陰刻) 印(陽刻) (序二オ)

「記載ナシ」(序二ウ)

今は三十とせはかりのむかしにもやなるらん、諸持いと若かりし頃、浅草庵のあるし市人の翁、いまたさかりのよはひにおはして、大江戸ちかきあたりはさらなり、遠き国々よりも名つきおくりて、をしへをうくる人おほく、たはれ歌にとりては、をさく世にかたをならふるものなく、そのよみ口はた、われとひとつのおもふきをたて、かりにもきたなけなる詞などはよみ出られさりしかは、おのつから其姿にならふともからも出こし中に、守舎のうしひとり、すくれてよく翁の(序三オ)、心をなん、得られにたりし。さるからにつひには、ふた世のあるしとなりて、猶たえず人々をいさなひたてしほとに、おのれにもいはれけるやう、たはれ歌といはんからに詞のつかひさまなど、むけにつたなからんは、なとかはくちをしからぬ。いかて物しれらむ人の見んにも、はつかしからぬやうにあらはやなど、かたらひあはせられしを、其のちいくとせも過ぎて身まかられたりしこそ、あたらしともあたらしう口をしかりしか。今のあるし春村のうしは、故翁のおはせし時より堪能の聞えありて、世のなりはひしけ(序三ウ)き身ながら、ひと日も怠ることなかりしを、今となりてはひたすらこのすちにのみ心いれて、我もよみ人にもよまするからに、年月にそへて門訪ふ人しけく、かへりてさきくのうしたちにも立こえにたるは、藍よりも青く水よりも寒きたくひとこそ、いふへけれ。此頃其一つのかきり、ひとりの歌ひとつつゝをぬき出、よみ人のかたちをぬか、せ、すへて世にあまねくもてあそぶ百人一首のおもふきにならひて、板にさへゑらせられしか、五百人の数にみてればとて、やかて五百人一首と

なん、名(序四オ)つけられたる。其歌ともよ、いつれもくあしたにとき、ゆふへにみかける玉のことは、五百つとひをときちらしたらんかごとく、みるめもかやくまてなん。おのれ三世のしる人なれば、これかはしにこそそへよとあるをいなひかたくて、かみのくたり、た、打おもふばかりをしるす。

千種庵のふた世のあるし

口網諸持(序四ウ)

### 凡例

- 一 此集、すべて他門の作者を交へず、社友のかきりをつとへにたれと、それはたもれたるも多かなれば、かさねて拾遺をものせんとす。
- 一 歌は風体をひとしくため、かつは秀逸をのみ撰むへきなれと、さては初学のきはなどには、病人人あらんもころくるしければ、いかにそや。似かるゝをも強てくはへたるあり。そはおもてふせなるものから、いかゝはせん。(序五オ)
- 一 作者の風俗、年齢など、その人といたくたかへるも多かり。こは古風を専にして、似せ絵にはかゝつらはねはなり。はた村田元成、谷浜風、池田本蔭などのたくひは、画中の興をあらせんとて、強てことやうに画かゝせられは、みんなあやしみおもふことなかれ。作者のついでには、さらに勝劣あるにあらず。唯着到に順ひたるなり。
- 一 衣冠、法衣、道服のたくひ、あるは器財、調度やうの物は、新古の製にかゝはらず摸写しつれば、猶僻事(序五ウ)もましらひたるへし。そは識者のをしへをまちてふたゝひ改正すへき、画匠のころまうけなりかし。

天保四年十二月

黒河春村識(序六オ)

「記載ナシ」(序六ウ)

草庵五百人一首卷一

目録

- 001 大垣市人 江戸浅草人。通称隆山。号浅草庵、又、都響園、巴人亭、墨用廬、壺々山人。文政三年十二月廿八日没、年六十六。
- 002 同 守舎 上野大間々人。通称新兵衛。初号浅茅庵、後継浅草庵号。来住江戸浅草。一号都響園。天保元年四月四日没、年五十四。
- 003 黒河春村 江戸浅草人。通称治平。初曰、本蔭、後継浅草庵号。一号随日園、又、都草園、壺々亭、葵園、薄斎。
- 004 土屋千元 江戸湯嶋人。通称彦太郎。号浅桂園、又、楹亭、桂屋。天保五年五月六日没、年二十二。
- 005 茗溪法師 江戸本郷等正主誠応。号浅醉庵、又、枕書堂。
- 006 沙弥鶴林 越中富山人。住江戸下谷。作名三千尋。号北溟舎、又、牧斎。(一ノ目録初才)
- 007 柴山国村 下野中嶋人。通称五郎。作号壺春園、又、春融園、東野亭。
- 008 津田琴繁 木幡侯臣。住江戸浜町邸。通称左門。号壺嘯楼、又、春鶯園。
- 009 梶 子 松々園室。号春宵園、又、静寝園。
- 010 春恵法師 等正寺法嗣宮内卿。号翠草庵、又、白蓋堂。
- 011 権律師了明 江戸下谷福成寺主。作名有隣。号浅池堂、又、壺柳園、観蓮子。
- 012 栄 子 浅池堂室。号春花園、又、池陽堂。
- 013 宮下道守 上野白井人。住江戸本町。通称範平。号壺常亭、又、無玄斎、宮明遠。
- 014 小相百枝 江戸浅草人。通称甚兵衛。号春翠園、又、都北園、霜後園。
- 015 勝田福寿 同郷人。通称三平。初曰、守路、号壺業亭、又、春栄
- 016 森 広蔭 堂、柏園。(一ノ目録初ウ)
- 017 田中鳳管 同郷人。森鶴村男。通称庄兵衛。号壺松楼、又、槽園。
- 018 奥居庫住 武蔵川崎人。住江戸八丁堀。通称丘隅。号浅染庵、又、桐斎。
- 019 多賀長住 近江市原人。通称治兵衛。号壺俵園。
- 020 権律師賢瓊 富山侯臣。住江戸下谷邸。通称友之丞。号浅秀庵、又、芦鶴亭、雲我堂。
- 021 新嶋高村 江戸駒込真浄寺主。作名鳳洲。号竹実園。天保五年七月三日寂、年三十四。
- 022 中村北麿 上野館林人。通称勝治郎。号浅桐庵、又、柏園、七柏斎。
- 023 小森守冬 富山侯臣。即住富山。通称滋右衛門。号壺海楼、又、玄花亭。
- 024 向後河鳥 上野大間々人。通称嘉吉。号六蔵亭。文政九年七月八日没、年二十一。
- 025 星野系成 下総桜井人。通称喜右衛門。号浅波庵、又、都曲園、大漁父。(一ノ目録二才)
- 026 宮下為業 上野原郷人。通称七左衛門。号浅原庵、又、壺薄園、観月窓。
- 027 同 梅侯 上野白井人。通称孫兵衛。号浅真府、又、啓迪舎、外石子。
- 028 植木守斗 同国同郷人。宮下道守猶子。通称半兵衛。号都光園、又、謙斎、玉蓮。
- 029 関口一岱 同国同郷人。通称六兵衛。号壺醪亭、又、藤花園。
- 030 浅川友乘 同国前橋人。通称善八。号壺丈楼、又、東辺舎。天保五年六月廿九日没、年六十。
- 031 篠原菊麿 同国白井人。通称儀八郎。号浅川庵、又、壺凉亭。
- 032 北出春人 武蔵和戸人。通称元祐。号壺英堂。
- 033 北出春人 江戸中橋人。通称儀兵衛。号浅月堂、又、都錦園。天

保三年十二月二日没、年六十六。

033 大矢都水 越後柏崎人。通称栄吉。号壺松齋。(一ノ目錄二ウ)

034 片桐北塙 同国小野人。通称錦吉。号寒月楼。

035 柴山草村 下野中嶋人。通称吉兵衛。号壺秋園、又、秋香亭、七種園。

036 野口雪村 同国同郷人。通称富五郎。号壺冬園、又、冬嶺亭。

037 林 女 常陸小栗人。中原某妻。号春綾園。

038 池田一瓶 上野津久田人。通称権兵衛。号浅馨庵、又、水酉子、鸞齋。

039 品川夢成 同国原郷人。通称英五郎。号壺礎楼、又、船遊子、手枕亭。

040 江利川守枝 同国前橋人。通称勘兵衛。号壺梅園、又、綴玉子。

041 室田守郷 同国館林人。通称宗治郎。号浅生庵、又、東感庵。

042 蓑 子 黒河春村妹。号菅園、又、少々妻廼屋。(一ノ目錄三才)

043 星野竜海 上野桐原人。通称兵内。号浅茅庵、又、曲々亭、金華苑。

044 新井秋住 同国高瀬人。通称又太郎。号浅哲庵、又、白雲堂、律調子。

045 同 守村 新井秋住男。通称勇七。号壺高窓、又、倭文家、白葉、白風園。

046 橋本高広 同国下新田人。通称亀吉。号壺昶園、又、茅虹園。

047 下田疇成 同国田嶋人。通称兵内。号山田舎。

048 佐藤宣洲 同国岩戸人。通称駒之丞。号壺潭楼、又、茅水園、麗沖子、花鏡亭、冰踊齋、愛滝楼。

049 柳沢春秀 同国大竹人。通称宗三郎。号壺竜園、又、清耀館、永齡舎、鶴庵、玉椿亭。

050 村田元成 江戸吉原京町人。通称市兵衛。家名大文字屋。号文字楼、又、加保茶園、花街楼、柿園。

051 高橋守的 上野鹿田人。通称忠蔵。号壺翼園、又、馬見岡。(二ノ目錄三ウ)

052 石原豊村 同国桐原人。通称伊兵衛。号春節園。

053 高野梅正 陸奥大久保人。通称仙右衛門。号浅薰庵、又、壺笠楼、東始園、祥齋。

054 角田秋久 上野原郷人。通称久五郎。号茅星園。

055 吉田芳季 陸奥川俣人。吉田吉利男。通称利兵衛。号浅畝庵、又、東壺園、亀屋、不醉、人哄堂。

056 斎藤昌二 同国同郷人。通称庄治郎。号浅永庵、又、伊達庵。

057 吉田長季 同国同郷人。吉田吉利二男。通称孫兵衛。号浅寿庵、又、壺祥亭。

058 八卷舎住 同国羽田人。通称文右衛門。号浅鷄庵、又、鷄廼屋、淳朴園、東鷄夫、宝田園。

059 渡辺合瀬 同国川俣人。渡辺光俊男。号隈水子、又、之通観。

060 同 浦風 同国同郷人。通称宗七郎。号壺濤園、又、東五園。(一ノ目錄四才)

061 大橋伊呂泥 尾張名見屋人。通称松蔵。号壺艶楼、又、逸庵。

062 栗原長秋 常陸上野人。通称永三郎。号壺栗園、又、菅居、桂園。

063 黒田豊秋 下総山王人。通称昌庵、号壺稻園。

064 一 元 江戸吉原京町。文楼遊女。同楼遊女。

065 浅 茅生 陸奥飯野人。通称逸之助。号浅栄庵、又、壺街楼。

066 菅野歌都住 尾張名見屋人。通称安治郎。号壺柴楼、又、檜扇屋、千春園。

067 大口安長 同国同郷人。通称徳蔵。号陽玉園。

068 石河金由 出羽米沢人。通称甚兵衛。号連葉庵、又、樂蓋亭、魚屋。(一ノ目錄四ウ)

069 三原春繁 米沢侯臣。即住米沢。通称弥治兵衛。号壺楽亭、又、柳々館。

070 近 春住

- 071 中嶋岸住 上野高津戸人。通称儀兵衛。号壺風樓。
- 072 池田守崎 同国横室人。通称安五郎。号壺征楼、又、三浦軒。
- 073 山本春好 下総笹川人。通称豎藏。号董菜園。
- 074 仁科守久 福嶋侯臣。即住福嶋。通称忠兵衛。号浅梢庵、又、翠松園、篤廼門。
- 075 大友桐磨 上野横室人。通称金藏。号壺絃楼、又、三五亭。
- 076 磯野茂村 富山侯臣。即住富山。通称勇馬。号白雀亭。
- 077 松川富門 陸奥三春人。通称喜代之助。号壺勝園、又、春秋亭。
- 078 楢山守海 上野大間々人。通称源助。号茅露園。(一ノ目錄五才)
- 079 武田夏海 陸奥八丁目人。通称栄吉。号浅縑庵、又、器水園。
- 080 丹沢折鶴 同国同郷人。通称八十郎。号浅舞庵、又、壺遊亭、水長舎。
- 081 春阿法師 江戸下谷宗善寺主竜海。号月庵、又、松々園。
- 082 道子 多賀長住妻。号春邑園。
- 083 土屋光村 土屋千元弟。通称兼治郎。号有梅庵。
- 084 有坂光隆 江戸鳥越人。通称蹄斎。
- 右(一ノ目錄五ウ)
- 〔図版釈文〕
- 001 大垣市人 野も山もあつめてきつる梅かゝを  
いかていれけんまとの春風(一ノ初オ)
- 002 大垣守舎 なにひとつなしもはたさて年のはて  
しはすのはてとなりけるかな(一ノ初ウ)
- 003 黒河春村 この国のものなりなからふしのねの  
なかははくものうへにありけり(一ノ二オ)
- 004 土屋千元 梅うゑて鶯またん松たて、  
まてはかならずはるはきにけり(一ノ二ウ)
- 005 茗溪法師 ゆふ闇にまよはてかりのいそくかな  
こし路の雪やしろくみゆらん(一ノ三オ)
- 006 沙弥鶴林 さく花にうき雨風はをみなへし  
いつらのほかのさはり也けり(一ノ三ウ)
- 007 柴山国村 ことの葉のしけき林に迷ふわか  
みちしるへせよ夏虫のかけ(一ノ四オ)
- 008 津田琴繁 あたらけきみやこは寒き山さとに  
さきおくれけり雪のはつ花(一ノ四ウ)
- 009 梶子 秋はあれと霞のおくにほのみえて  
こゝろにくきははるの夜の月(一ノ五オ)
- 010 春恵法師 ぶりならず手さへふるへてれいよりも  
ことしはさゆる雪の山寺(一ノ五ウ)
- 011 権律師了明 青柳のさえたつたひて山つゝら  
かゝるふるすやししのふうくひす(一ノ六オ)
- 012 栄子 ゆふ月の光もすゝし隅田川  
のりてあそはんをふねならねと(一ノ六ウ)
- 013 宮下道守 まれにあふこよひをはれと粧ふか  
ひかりさやけきひこほしのかけ(一ノ七オ)
- 014 小楢百枝 袖笠は日のまはゆさにかつきけり  
末野のしくれ遠くみやりて(一ノ七ウ)
- 015 勝田福寿 いろも香もいまをさかりの家さくら  
風の神たにたゝらさりけり(一ノ八オ)
- 016 森 広蔭 ひとりねのねさめにとりのこゑきけは  
うらみし夜こそこひしかりけれ(一ノ八ウ)
- 017 田中鳳管 さえかへる風をいた戸のすきまより  
いさなふかけはさふし春日も(一ノ九オ)
- 018 奥居庫住 うくひすのさへつるいきか梅かえを  
ふきこしてくる風のゝとけさ(一ノ九ウ)
- 019 多賀長住 こゝのへのうち野にさけるふちはかま  
ゆかしや露のぬきしろにして(一ノ十オ)
- 020 権律師賢瓊 照月の光をきよみむらからす

- 021 新嶋高村  
うかれ出てなくかすもみえけり(一ノ十ウ)  
さらてたにほりかねの井をふるゆきの  
うつみに埋むむさし野の原(一ノ十一オ)  
ふりつもる雪の中道行わひて
- 022 中村北麿  
かへり見すればわかあともなし(一ノ十一ウ)  
山人もいまたきかしとおもふまで  
こゑめつらしきほとゝきすかな(一ノ十二オ)  
よし野山しみつなかるゝさくらかけ  
しはしといはて人は住けん(一ノ十二ウ)  
淡路嶋かよふちとりのこゑならて
- 023 小森守冬  
栄花の夢をさますひよとり(一ノ十三オ)  
仙人のかふ手になるゝあしたつも  
ちよとおもひてよろつ世やへん(一ノ十三ウ)  
清滝のせゝのしらいとえてしかな  
涼しき夏のころもおるへく(一ノ十四オ)  
みすゝかる信濃は国もたかしとて  
雲井にひくかもち月のこま(一ノ十四ウ)  
我にあらしたれよふことりたひ路きて
- 024 向後河鳥  
みなれぬ山にきゝなれぬこゑ(一ノ十五オ)  
たかうゑしまかきのきくそゆふ霧の  
ひまよりあまたほしのみゆるは(一ノ十五ウ)  
紫はうつりやすきをこゝろして  
しつえかゝけよ萩かはなつま(一ノ十六オ)  
水に住かたわれ月のかたゝゝも  
おのか友とやかはつなくらん(一ノ十六ウ)  
銀河もしをし鳥の瀬にすまは  
たなはたつめはねたくこそみめ(一ノ十七オ)  
秋の夜の月はこし路もさやけしと  
都につてよ天津かりかね(一ノ十七ウ)
- 025 星野糸成  
026 宮下為業  
027 宮下梅侯  
028 植木守斗  
029 関口一岱  
030 浅川友乗  
031 篠原菊麿  
032 北出春人  
033 大矢都水  
034 片桐北塙
- 035 柴山草村  
はし鷹の尾ふさを遠みをすゝきの  
かれのこるやと御狩野の原(一ノ十八オ)  
手入せぬ野もりか庭も滝おとし  
水はしらすするゆふたちの雨(一ノ十八ウ)  
しらきくのうつろひぬへくおく霜に  
うたて匂はぬ花咲にけり(一ノ十九オ)  
君により千名に五百名に名はたちぬ  
世にかすならぬわか身なからも(一ノ十九ウ)  
蜘蛛にははらひもすてんまつよひに  
こぬをしらすする雨のいとすち(一ノ二十オ)  
ひとかとはあれやとそおもふ人みなの  
わたりかてなる丸木橋にも(一ノ二十ウ)  
鶯よやとりわするなゆふ暮は  
梢もことにかすむ梅かえ(一ノ二十一オ)  
かたふかは我もねなんと思ふまに  
なかき夜なからありあけの月(一ノ二十一ウ)  
しは人のほかはふませし初みゆき  
庭よりつゝく山のしろたへ(一ノ二十二オ)  
よしの山花ちる春の雪ならて  
しろき嵐そ松に寒けき(一ノ二十二ウ)  
春はたゝ花多かれと思ふにも  
門にはまつを立ならへけり(一ノ二十三オ)  
なゝくさのたからのたまかなゝ草に  
おきそふ露そひかりことなる(一ノ二十三ウ)  
うつみ火にかたりあかしつおもふとち  
さふさも用のこともわすれて(一ノ二十四オ)  
みしか夜の月のなかめは暁の  
雲にあはぬもをしまれにけり(一ノ二十四ウ)  
朝かほのはなにはかなくみしつゆも
- 036 野口雪村  
037 林 女  
038 池田一瓶  
039 品川夢成  
040 江利川守枝  
041 室田守郷  
042 簀 子  
043 星野竜海  
044 新井秋住  
045 新井守村  
046 橋本高広  
047 下田疇成  
048 佐藤宣洲  
049 柳沢春秀

- きくにしおけはともにてたし(一ノ二十五オ)  
 花もみすゆきしころのおろかには  
 似あはてかりの秋を忘ぬ(一ノ二十五ウ)  
 袖ふれてちらせはまたもおきかふる  
 心そまろき露のしら玉(一ノ二十六オ)  
 子日する末野のそらそみとりなる  
 天の原にもまつやおひたる(一ノ二十六ウ)  
 子を思ふころめしききすかな  
 音にはなけともいたくをしき(一ノ二十七オ)  
 秋といへはきのふのあふきもつ手より  
 おくてすしき今朝のはつ風(一ノ二十七ウ)  
 日記かぬひとも干かたに硯石  
 とりいてめてん土佐の海つら(一ノ二十八オ)  
 やすの川やすのわたりはふみ月の  
 けふのひと夜の名にこそありけれ(一ノ二十八ウ)  
 さひしとて人のいきするたひくに  
 霧たちそふか秋のゆふ暮(一ノ二十九オ)  
 としのさかこえんまうけにえてしかな  
 こかねのわらちしろかねの杖(一ノ二十九ウ)  
 たしなしと人なけきそはつみ雪  
 おきその風にきえやはて南(一ノ三十オ)  
 待人にあらねとなつの木下かけ  
 あとより風のくるそうれしき(一ノ三十ウ)  
 ひとせのをはりよまつさき出て  
 はしめにほふ花は此花(一ノ三十一オ)  
 梅さくら過にしかたや忘るらん  
 大みや人はあふひかさして(一ノ三十一ウ)  
 さみたれに川そひうつ木はなちりて  
 おもはぬ波のしろくたつのみ(一ノ三十二オ)
- 050 村田元成  
 051 高橋守的  
 052 石原豊村  
 053 高野梅正  
 054 角田秋久  
 055 吉田芳季  
 056 齋藤昌二  
 057 吉田長季  
 058 八巻舎住  
 059 渡辺合瀬  
 060 渡辺浦風  
 061 大橋伊呂泥  
 062 栗原長秋  
 063 黒田豊秋
- 064 遊女一元  
 天の川このゆふ月のかたふくは  
 君をわたしてかへるふねかも(一ノ三十二ウ)  
 みたれてもむすほられても片いと  
 よりこそあはね君はつらくも(一ノ三十三オ)  
 ふしといふなかめあらずはいかはかり  
 ゆきうからまし東路の旅(一ノ三十三ウ)  
 花にあかてかへりしときのかなしきを  
 思出てやかりのなくらん(一ノ三十四オ)  
 久かたのそらもきよらにあけ初ぬ  
 わかみつくみていはふあしたは(一ノ三十四ウ)  
 ふりつみてまことの雪のしろき夜は  
 まかひし月のかけそをくらき(一ノ三十五オ)  
 かけうつるそこさえ匂ふ山の井の  
 あかていくかも花にあそはん(一ノ三十五ウ)  
 花もみちみやひころもあらぬ身は  
 さつ矢たはさみ山暮しつ(一ノ三十六オ)  
 かなたにはまたれこなたにをしまれて  
 山のかひにや月のいさよふ(一ノ三十六ウ)  
 八重匂ふならのみやこのほかまでも  
 けふは花見とあさ起そする(一ノ三十七オ)  
 あつさをもしのきかてらにひるねして  
 すしき月を夜もすから見ん(一ノ三十七ウ)  
 初かりの玉つさよまんいますこし  
 ひかりかけてみせよいなつま(一ノ三十八オ)  
 友人のとはん道さへたえはて  
 さともみやまとつもる大ゆき(一ノ三十八ウ)  
 時鳥待よりわひし声たえす  
 うくひすなきてはるの行日は(一ノ三十九オ)  
 久かたの天のやちまたふく風も
- 065 遊女浅茅生  
 066 菅野哥都住  
 067 大口安長  
 068 石河金由  
 069 三原春繁  
 070 近 春住  
 071 中嶋岸住  
 072 池田守崎  
 073 山本春好  
 074 仁科守久  
 075 大友桐麿  
 076 磯野茂村  
 077 松川富門  
 078 梶山守海

079 武田夏海

たちはなありて夏はかをるか(一ノ三十九ウ) きたかての野へはかりかはさえかへる

080 丹沢折鶴

そらにも雪のふりのこるみゆ(一ノ四十オ) 物おもふこゝろは人にしられすて

081 春阿法師

霜かれの野末しくるゝ雲みれば つかしきのみ色にいてにけり(一ノ四十ウ)

082 道子

すまのあまのかるやみるめのまはゆさよ さらのみとりも色かはり行(一ノ四十一オ)

083 土屋光村

波をもけさは雪のうつむか(一ノ四十一ウ) なれくゝて久しくなれる冬よりも

084 有坂光隆

けふこしはるのうれしきやなぞ(一ノ四十二終オ) 君をわかこふるこゝろはあまれとも

草庵五百人一首巻二

目録

085 吉田一朶

陸奥羽田春日社司。通称左衛門輔。号浅柵庵。

086 中村春樹

出羽米沢人。通称伊平。号浅翠庵、又、巴蓋亭、梅垣内。天保四年十月六日没、年五十九。

087 鈴木綾主

江戸富沢町人。通称栄蔵。号浅詞堂、又、都錦園、巴人亭。

088 菅谷広村

下総関戸人。通称佐左衛門。号壺瀉亭、又、北鍼子。

089 新井守常

上野篠塚人。通称市左衛門。号茅文園。

090 大橋竹村

下野福良人。通称雄蔵。号浅鶯庵、又、此君堂。(二ノ目録初オ)

091 同 千村

大橋竹村孫。通称為輔。号壺桜園、又、銚廼屋、菅室。

092 和合岸員

陸奥山口人。通称善右衛門。号蓼田舎。

093 大森真柴

下野萩嶋人。通称彦兵衛。号常原亭、又、萩園。

094 河野久住

陸奥福嶋人。通称治右衛門。号浅齡庵、又、壺菊楼。

095 斎藤村並

同国同郷人。通称佐二兵衛。号浅檜庵、又、壺豊楼。

096 菅沢霞人

下総五江内人。通称佐右衛門。号壺汀楼。

097 清水友俊

同国鮑子人。通称太郎左衛門。号三有舎。

098 向後吉正

同国諸持人。通称政右衛門。号春路園。

099 同 道文

同国同郷人。通称清助。号壺解楼、又、薰風軒、金鈴子。(二ノ目録初ウ)

100 佐藤梅早

陸奥手渡人。通称吉右衛門。号浅曆庵、又、壺南園、東室亭。

101 渡辺 静

同国同郷人。通称嘉右衛門。号壺謡楼。

102 安田岸住

同国山口人。通称儀蔵。号浅蓼庵、又、壺眺楼。

103 斎藤清住

同国鎌田人。通称又十郎。号壺溪楼、又、眺花園。

104 清野岸光

同国山口人。通称円治郎。号壺水楼、又、清流亭。

105 糸井作良

上野花輪人。通称浄右衛門。号浅嶺庵、又、花王庵、山多楼。

106 高艸木高木

同国同郷人。通称弥一郎。号壺輪楼。

107 鈴木音鷹

同国同郷人。通称利八。号壺銀楼、又、玲々舎。

108 同 千本

同国宮崎人。通称善太郎。号浅穎庵、又、壺員楼、茅艸園。(二ノ目録二オ)

109 綾刀自

黒河春村妻。号都柳園。

110 三上一臥

江戸巢鴨人。通称祐之助。号千歳亭。

111 白石居村

上野南牧人。住同国藤木。通称簾作。号壺随園、又、花蔭亭、楓園、桜木廼屋、青葉斎。

112 村田春種

同国荻原人。通称襄治郎。号清糸園。

113 花香照陰

下総万才人。通称伝司。号翠嶺。

114 谷 浜風

陸奥弘前人。通称慶輔。号浅葉庵、又、水牛院、烏露廼屋。

115 前田喜多住

同国同郷人。通称久米吉。号浅祥庵。

116 船城予禄

同国同郷人。通称忠左衛門。号壺曲亭、又、松寿園。

117 手塚魚来

同国同郷人。通称莊蔵。号壺潮子、又、東西庵。(二

ノ目録二ウ)

- 118 堀田照景 同国同郷人。通称良輔。号壺酣楼、又、錦水園。
- 119 市田皮之 同国木造人。通称五三郎。
- 120 僧 齧 同国同郷(以下五文字ほど墨格)号喜楽堂。
- 121 葦葉法師 同国同郷慶応寺主祐意。号蓮葉庵。
- 122 感 返上 同国同郷人。通称宇三郎。号東西房。
- 123 物部照庭 上野一宮大宮司一宮志摩守。号浅白庵、又、望月館。
- 124 河野守弘 下野大道人。通称伊右衛門。号浅芳庵、又、壺聚園、  
樛園。
- 125 龜山惟一 同国龜山人。通称唯一。号五総園、又、佐那伎廼屋。
- 126 小嶋笹根 常陸高田人。通称繁右衛門。号壺藪園。(二ノ目録三才)
- 127 菅野衆人 陸奥福嶋人。通称与市。号浅苔庵。
- 128 本多山住 同国同郷人。通称嘉七。号浅静庵。
- 129 齋藤村住 同国同郷人。通称吉兵衛。号檜山亭。
- 130 柴山里村 下野中嶋人。柴山国村弟。通称喜三郎。号春興園、又、  
鬢野亭、東郊舎。
- 131 末生法師 江戸駒込教元寺弟智順。号壺昔園、又、一塵子。
- 132 河野守弘母 下野大道人。自称桜戸姫、又、萱室。
- 133 繁 子 河野守弘妹。号夏聚園、又、鏡室。文政十三年十月十日没、年二十六。
- 134 倭文刀自 同妻。号春雨亭。
- 135 甲田顕雄 同国吉田人。通称意伯。号壺芳園、又、葛園。(二ノ目録三ウ)
- 136 杵山高行 常陸卒木人。通称東蔵。号壺翔楼、又、鶴亭。
- 137 田口守明 下野吉田人。通称多一郎。号壺玉園、又、拾玉亭、楸園。
- 138 同 国一 同国同郷人。通称幹五。号守水亭、又、玉塵楼、柯園。
- 139 竹内直麿 上野一宮社家。通称廉斎。号浅節庵。
- 140 大邑弘樹 下野大道人。通称利右衛門。号春野亭、又、葦園。
- 141 小口弘一 同国吉田人。通称辰之助。号芳錦園、又、秋野亭。
- 142 泰山信元 同国長沼人。通称久治郎。壺菅園。
- 143 米川躬鳥 江戸芝人。通称左京。号五葉亭。
- 144 酒井武暉 出羽竹杜人。通称庄之助。号信歌堂。(二ノ目録四才)
- 145 谷郷菊見 越中富山人。通称小右衛門。号壺清楼、又、素琴亭。
- 146 河合嶺雄 江戸本所人。通称与作。号浅濃庵、又、桑廼屋、蘭室。
- 147 藤田茂高 富山侯臣。即住富山。通称晋之佑。号木公舎。
- 148 赤荻了村 下総鹿鶴人。通称平司。号荻園。
- 149 田中富村 下総福良人。通称竜碩。号牡丹園、又、竹如亭。
- 150 宮崎若村 同国中嶋人。通称万太郎。号春柴園、又、青野亭。
- 151 柴山岸村 同国同郷人。通称嘉吉。号帛水亭。
- 152 田口興雄 同国吉田人。田口国一男。通称弥五左衛門。号芳雲楼、  
又、斐園、芙蓉亭。
- 153 同 晴雄 同国同郷人。通称権右衛門。号芳野亭、又、一翠園、  
三明舎、藤園。(二ノ目録四ウ)
- 154 福田近村 同国大中嶋人。通称忠右衛門。号詣河堂、又、桑園。
- 155 池田本蔭 上野津久田人。池田一瓶男。初曰、守瓶。通称八郎治。  
号壺翫楼、又、茅遊園、潦亭、馨枝園。
- 156 秋間光弘 下野柳林人。通称八兵衛。号芳桂園、又、楫廼屋、望月園。
- 157 浜田長喜 富山侯臣。即住富山。通称定右衛門。号壺川楼、又、  
越川舎。
- 158 久智市住 江戸京橋人。通称真太郎。号壺月堂、又、都橋園、一  
円斎。
- 159 高橋満香 秋田侯臣。即住秋田。通称勇之丞。初曰、業増。号春  
抄園、又、吾道堂。
- 160 堀江一章 出羽秋田人。通称助四郎。号玉塵亭、又、春窓園。
- 161 山田守雄 同国能代人。通称龜五郎。号壺山楼。
- 162 中嶋龜年 同国同郷人。通称永四郎。号玉淵亭。(二ノ目録五才)

163 佐々木晴海 同国同郷人。通称吉助。号玉鵬亭。  
 164 北村春香 同国同郷人。通称佐吉。号玉卸庵。  
 165 浄阿居士 同国同郷人。村木楽雄父。通称声仲。号安楽亭。文政十一年十二月十二日没、年六十七。  
 166 村木楽雄 同国同郷人。通称新三郎。号壺漬楼、又、灌園。  
 167 西村四季見 同国同郷人。通称庄七。号玉照亭。  
 168 堤 守文 越後三条人。秋田侯臣。即住秋田。通称謙吾。号浅玉庵。

右(二ノ目錄五ウ)

〔図版釈文〕

085 吉田一朶 さひしさに手かひの猫もこの人と  
 よひてかたらふ秋のゆふ暮(二ノ初オ)  
 086 中村春樹 雪とみし花はのこりて遠山の  
 みねにきえ行天津かりかね(二ノ初ウ)  
 087 鈴木綾主 さくら花待しつらさもちるうさも  
 わすられにけりさきのさかりは(二ノ二オ)  
 こぬ人をまつ夜の月しかたふけは  
 088 菅谷広村 我影さへにみえずなりけり(二ノ二ウ)  
 きのふよりけふは寒けし冬くれは  
 089 新井守常 ことしも老となりやしつらん(二ノ三オ)  
 ふしのねはあけ暮人のみる山と  
 090 大橋竹村 しれはや雪のいゆきは、かる(二ノ三ウ)  
 山のはにいらてのこるはありあけの  
 091 大橋千村 月もめつるか春のあけほの(二ノ四オ)  
 たくひなくみしもみち葉はちりてたに  
 092 和合岸員 あかぬつゝりのにしき也けり(二ノ四ウ)  
 隅田川をふねうかへて汲さけに  
 093 大森真柴 なみをうたする風のすゝしさ(二ノ五オ)

094 河野久住 老か世はかきりあらしと人のみし  
 めかねはつさてとしをふるかな(二ノ五ウ)  
 うらゝと照日うれしみ久かたの  
 095 斎藤村並 そらにひめもすあそふひはりか(二ノ六オ)  
 おそしとてたれかうとまん山さくら  
 096 菅沢霞人 青葉にはなのおもかくしすれ(二ノ六ウ)  
 よこくもにうき橋見えてはるの夜の  
 097 清水友俊 夢をしからぬあけほの、そら(二ノ七オ)  
 小倉山またの御幸をもみち葉も  
 098 向後吉正 にしきのとはりかけて待らん(二ノ七ウ)  
 おそさくらしなすくなきをめてんには  
 099 向後道文 言葉多きもたれかうとまん(二ノ八オ)  
 いさとはんあるしまうけはわろしとも  
 100 佐藤梅早 さくらか枝に手のとく宿(二ノ八ウ)  
 およひなき峯のさくらよ谷川の  
 101 渡辺 静 をられぬ水になかる、もをし(二ノ九オ)  
 明くれにとはる、花のさくら戸は  
 102 安田岸住 よるたにさらて人をこそまで(二ノ九ウ)  
 しのふ山しけきかもとをたつぬとも  
 103 斎藤清住 人のこゝろのおくはしられし(二ノ十オ)  
 たかさこの松吹風もこゑたかし  
 104 清野岸光 うたふうたひをきくかことくに(二ノ十ウ)  
 わきもこかはたへをしろみもゆる火を  
 105 糸井作良 雪もてきやすこゝ地こそすれ(二ノ十一オ)  
 うちなひく草香の山の秋風に  
 106 高艸木高木 難波の海も浪やたつらん(二ノ十一ウ)  
 なかたちをかたらひえつるかひもなし  
 107 鈴木音鷹 人のこゝろのたのまれすして(二ノ十二オ)  
 ぬれてほす根わけのきくの露のまに  
 108 鈴木千本

- 庭のさくらも七日へにけり(二ノ十二ウ)  
山さとはいとゞきひしきゆふへかな  
かたるもとふも萩はかりにて(二ノ十三オ)  
ましらとはうへもいひけりよふこ鳥  
人のまねして人よはふ也(二ノ十三ウ)  
なにもともわすれてあかすみる雪は  
世のうささへにふりうつむらん(二ノ十四オ)  
露のまに千とせをふへききくなれや  
花まち遠になにおもひけん(二ノ十四ウ)  
梅か枝にきるる鶯うへしこそ  
舌もかわかてこゝらなくらめ(二ノ十五オ)  
ことゝはぬいはほなからもふたみかた  
ふたりならひてたつはなつかし(二ノ十五ウ)  
さく花のほひふかさもおのつから  
くみてしらるゝさくら井の里(二ノ十六オ)  
花かけにあそふ故蝶(こゝろ)のまひみれば  
あかなくに日も入あやの袖(二ノ十六ウ)  
君か代はちひきの石に春雨の  
しつけくふりて穴うかつまで(二ノ十七オ)  
なきわたるこゑもめつらしほとゞきす  
まつりみにこし加茂の山へを(二ノ十七ウ)  
あすこえんたかねましろくふりつみて  
いとゞ旅路そゆきつかへぬる(二ノ十八オ)  
古郷は人もみぬまのかきつはた  
たかしめゆひてひとり咲らん(二ノ十八ウ)  
雨にきるすけの小笠もふきあけの  
はま風あらみ波にぬれつゝ(二ノ十九オ)  
暁はうらみんかねもゆふ暮に  
こんとつくるそうれしかりける(二ノ十九ウ)
- 122 感 返上  
121 葦菜法師  
120 僧 鬘  
119 市田皮之  
118 堀田照景  
117 手塚魚来  
116 船城予禄  
115 前田喜多住  
114 谷 浜風  
113 花香照蔭  
112 村田春種  
111 白石居村  
110 三上一臥  
109 綾 刀自
- 123 物部照庭  
咲にけりひらのたかねの山さくら  
そらの海にもかけうつるへく(二ノ二十オ)  
すへらきのおほんめくみのかけひろみ  
氷もあつしよものひむろに(二ノ二十ウ)  
浪間照光もをかしさゝらかた  
にしきのうらの秋の夜の月(二ノ二十一オ)  
青柳にしは生のちりをはらはせて  
あそふ春野のむしろにそかる(二ノ二十一ウ)  
陰たかし軒のしのふもした草と  
おもふはかりにまつはさかえて(二ノ二十二オ)  
みな月はそらにも雨のたらねはや  
ふると見るまにはるゝゆふたち(二ノ二十二ウ)  
たくみなりやみもたとらぬうかひ舟  
おのかしわさにくらからすして(二ノ二十三オ)  
悔しくも人に山路のしるへして  
あたらさくらををらせつる哉(二ノ二十三ウ)  
たちはなの香にむせひけんほとゞきす  
わか門をしもなかくてするは(二ノ二十四オ)  
よひに見し夢のうき橋たちかへり  
ふたゝひわたる暁のころ(二ノ二十四ウ)  
うすきこきもみちはかなくちりぬなり  
みねもつねなき風やふくらん(二ノ二十五オ)  
あかつきのわかれわひしみことさらに  
霜夜のかねそ身にはしみぬる(二ノ二十五ウ)  
にきはへるかまとをはたちかさぬとも  
ふしの煙やたちまさるらん(二ノ二十六オ)  
おのか名をよこさしとてや加茂の川  
たち行とりもにこささるらん(二ノ二十六ウ)  
ほとゞきす鳥羽田のさなへいつしかも
- 127 菅野楽人  
126 小嶋笹根  
125 亀山惟一  
124 河野守弘  
123 柴山里村  
122 本多山住  
121 斎藤村住  
120 末生法師  
119 河野守弘母  
118 繁 子  
117 倭文刀自  
116 甲田顕雄  
115 秋山高行  
114 田口守明

- 138 田口国一  
 かりかねなきて色つきにけり(二ノ二十七オ)  
 あめのしたまたくひなき不士のねは  
 雪のいろにもいちしろきかな(二ノ二十七ウ)  
 ひとついろに見えしこと木はもみちして  
 松をしくれのそめいたしけり(二ノ二十八オ)  
 さみたれにさなへとる日もぬれしかと  
 秋のかりほの露そことなる(二ノ二十八ウ)
- 139 竹内直麿  
 難波かたくか、海かとたとる日は  
 梅そかすみのみをつくしなる(二ノ二十九オ)  
 おほそらも人のかた見のこ、地して  
 こゝろなくさのかりの玉つき(二ノ二十九ウ)  
 墨染の羽袖もをかしとふほたる  
 身よりひかりをはなつとおもへは(二ノ三十オ)  
 獲物なき夜はくさつをもさをしかの  
 角のふくれをおのれみすらん(二ノ三十ウ)  
 さひしさよあきのなかはもはや過ぎて  
 月さへうときゆふ暮のそら(二ノ三十一オ)  
 もろこしへ行もみやこにと、まるも  
 春はあつまをとにもこそたて(二ノ三十一ウ)  
 おなし世にうまれあはずは君故に  
 しなはかりのものはおもはし(二ノ三十二オ)  
 世中の人のこゝろに似たるかな  
 いさよふ波にうき草のはな(二ノ三十二ウ)  
 をちこちにむしのなく音のきこえずは  
 野へともしらし霧ふかくして(二ノ三十三オ)  
 やをかゆくはまのまさこもしかめやは  
 いそへの松のちよのかすには(二ノ三十三ウ)  
 きさらきのはしめにみけりをりかさす  
 枚の葉青きうまゝつりをは(二ノ三十四オ)
- 140 大邑弘樹
- 141 小口弘一
- 142 泰山信元
- 143 米川躬鳥
- 144 酒井武暉
- 145 谷郷菊見
- 146 河合嶺雄
- 147 藤田茂高
- 148 赤荻了村
- 149 田中富村
- 150 宮崎若村
- 151 柴山岸村
- 152 田口興雄  
 雨にのみめてんかけかはからさきの  
 松ははれたるそらのいろして(二ノ三十四ウ)  
 むさし野の草はみなからふしのねの  
 雪のしたにてもゆる春かな(二ノ三十五オ)  
 滝つ瀬はしろき筋のみみたれけり  
 くろかみ山におつるものから(二ノ三十五ウ)  
 花をなみ人のたふれぬかるかやも  
 おのれと秋はしたをれにけり(二ノ三十六オ)  
 たのしさよはるのとなりのたからをも  
 かそへてくらすけふのこよひは(二ノ三十六ウ)  
 しら浪のたちかへり行いそ千鳥  
 沖の小嶋になにわすれけん(二ノ三十七オ)  
 ころもうつ音に夜寒のさとの名は  
 とはてもしるき秋の此比(二ノ三十七ウ)  
 文机にむかへとくらきゆふ暮は  
 みぬ世の友もとはてさひしな(二ノ三十八オ)  
 色々のはなさく秋は枯木をも  
 もらさしとてかまとふ朝かほ(二ノ三十八ウ)  
 梅かゝのやみにもしるきたくひかな  
 霞かくれの鶯のこゑ(二ノ三十九オ)  
 山人の斧のひゝきもさえにけり  
 霜にくち木の柚の冬かれ(二ノ三十九ウ)  
 かくれかは人にあふさへうの花を  
 垣ねにゆひて世をそへたつる(二ノ四十オ)  
 けふことによるつ千秋の長秋を  
 かさねてくまんきくのさかつき(二ノ四十ウ)  
 山川のとよむはかりそたつきなる  
 霞につく木曾のかけはし(二ノ四十一オ)  
 松たけによそほふはるの門みれは
- 153 田口晴雄
- 154 福田近村
- 155 池田本蔭
- 156 秋間光弘
- 157 浜田長喜
- 158 久智市住
- 159 高橋満香
- 160 堀江一章
- 161 山田守雄
- 162 中嶋龜年
- 163 佐々木晴海
- 164 北村春香
- 165 浄阿居士
- 166 村木楽雄

167 西村四季見 梅さへきよく花咲にけり(二ノ四十一ウ)  
宇治川やしら波こゆる網代木に

168 堤 守文 寒さかさねてさゆる月かけ(二ノ四十二終オ)  
たなはたのあふ夜は月もとくいるを  
うこかぬ北のほしやなになり(二ノ四十二終ウ)

### 草庵五百人一首巻三

#### 目録

169 青木一襲 上野津久田人。通称源蔵。号壺縫園、又、花田亭。

170 西村仲秋 常陸関本人。通称林左衛門。

171 浅野鈴庭 美濃今尾人。通称忠左衛門。号壺瑄庵、又、柏葉庵。

172 深谷莉穂 秋田侯臣。即住秋田。通称直。号壺僊楼。

173 五十嵐春雄 出羽秋田人。通称芳蔵。号玉柳舎。

174 上山羽狩 上野大間々人。通称喜兵衛。号浅桃庵、又、一丁亭。

175 湯本五百秋 天保五年午十一月九日没、年七十七。(三ノ目錄一オ)  
下総芳賀崎人。通称広吉。号桂下園、又、誠斎。

176 深沢駒寸 上野桐原人。通称弥五右衛門。号浅姜洞、又、雪蹄苑。

177 豊田守一 同国大間々人。通称信吉。号壺玲楼、又、鱗岡。

178 小宅文藻 下野真岡人。通称喜兵衛。号日新斎、又、六花園、栲園。

179 美 余子 小宅文藻女。号感久苑、又、菊園。

180 武川守光 上野太田人。通称藤兵衛。号青葉堂。

181 連 女 武蔵高崎人。持田某母。号旅月堂。

182 都丸宝船 上野八崎人。通称忠蔵。号大海舎。

183 角田一興 同国津久田人。通称善蔵。号壺諷楼。(三ノ目錄一ウ)

184 浅川魚一 同国岩戸人。通称常治郎。号鐫川楼、又、繭糸亭、源紙園、竹葉舎。

185 浦野立人 越中本郷人。通称甚蔵。号高雪庵。

186 富田永世 武蔵太田人。住上野藤岡。通称金蔵。号浅律庵、又、

金風亭。

187 新井玉世 上野藤岡人。通称右一郎。号庭律庵、又、桑樹園。

188 柳沢永俊 同国同郷人。通称雄蔵。号壺澹園、又、緑毛斎。

189 浅見御世澄 同国同郷人。通称登世太郎。号壺富園、又、波静堂。

190 峯 下蔭 同国同郷人。峯越方男。通称安右衛門。号壺喬園、又、堰蓋楼。

191 手計俊久 武蔵本庄人。住上野藤岡。通称左平。号二葉庵、又、高砂園。

192 小林星照 近江中野人。住上野藤岡。通称源三郎。号青律庵、又、鶴星堂、舛廼屋。(三ノ目錄二オ)

193 高橋小田蒔 武蔵肥土人。通称周兵衛。号壺耕園、又、村恭庵。

194 中沢保世 同国同郷人。中沢細道男。通称栄兵衛。号壺聖園、又、大榎庵。

195 中嶋有員 三河道日記人。通称峻洞。号浅綉庵。

196 (像197) 山田徳司 同国神有人。通称徳治。号山滝水。

197 (像196) 岡部花雪 同国同郷人。通称周助。号旭亭。

198 山田岐英 同国同郷人。通称善蔵。号双樹園。

199 二瓶小瓶 出羽一本柳人。通称小左衛門。号壺澳楼。

200 池田守好 上野津久田人。通称源八郎。号壺学楼、又、馨花園。

201 吉川百潮 江戸浅草人。通称勘七。号紅楓園。(三ノ目錄二ウ)

202 綾 女 上野桐生人。長谷川某女。号茅棕園。

203 白 子 同国同郷人。稻垣某女。号壺珪園、又、茅菊園、連栄亭。

204 仮 名女 三河荒木人。都筑某妻。

205 室田春郷 上野館林人。室田守郷男。通称啓太郎。号壺満楼。

206 嶋田延樹 下野田嶋人。初曰、綾成。通称嘉兵衛。号相生園、又、松亭、唐錦子。

- 207 池田幹久 上野峯人。通称伝蔵。号壺齋楼。
- 208 柳沢一棧 同国大竹人。柳沢春秀弟。通称国輔。号蘭園、又、竜枝園。
- 209 佐藤春舎 陸奥羽田人。通称直八郎。号壺興園、又、誠齋。
- 210 朽津守綾 上野上久方人。通称伊兵衛。号壺漢亭、又、茅風園。  
(二ノ目錄三才)
- 211 荒井文一 同国同郷人。通称忠蔵。号壺潜亭、又、茅他園。
- 212 朽津綾竹 同国同郷人。通称惣助。号壺縞亭、又、茅曲園。
- 213 織子 同国同郷人。青木某女。号壺裳亭、又、茅秋園。
- 214 青木広嶺 同国同郷人。通称勝右衛門。号壺葉亭、又、妻々舎。
- 215 向田高輅 同国同郷人。通称陸右衛門。号壺音亭、又、檀園。
- 216 矢野里成 近江日野人。通称文左衛門。号田舎亭。
- 217 田中浜風 同国同郷人。通称孝助。号茅輪園、又、楠葉子。文政十二年五月廿六日没、年三十三。
- 218 前原守行 上野二渡人。通称徳右衛門。号壺道楼、又、茅檐楼。
- 219 糸井冲風 同国同郷人。通称清吉。号壺船楼、又、茅浦楼。(三ノ目錄三ウ)
- 220 深見廬山 三河新堀人。作名三笑。初号浅倉庵。後更竜眠閣。又、白蓮舎、石林觀、勢虎軒、旧珍斎。
- 221 白梅女 深見廬山妻。曰、鶯鵲。号浅英庵。文政九年七月十五日没、年四十七。
- 222 深見三躬 深見廬山男。通称珂六。号浅倉庵、又、壺江園。
- 223 井上如流 同国字頭人。通称吉右衛門。号浅涯庵、又、壺唄楼。
- 224 外松三顧 同国佐々木人。通称隆朔。号命明楼。
- 225 市川山橋 同国平坂人。通称彦三郎。号壺澗楼、又、亀乘園。
- 226 吉橋三雨 同国越戸人。仕新堀深見三躬家。通称利七。号青苔園。
- 227 権大僧都良賢 上野大間々人。大泉院主。作名峯之。号壺棧廬、又、芳野山人。
- 228 金子躬次 同国同郷人。通称雄次郎。号壺道楼。文化十三年八月
- 229 藤生百蔭 廿二日没、年二十六。(二ノ目錄四才)
- 230 布女 同国桐原人。通称善蔵。号壺彩楼、又、哥林亭。
- 231 稻生波員 尾張布土人。通称新助。号稻葉亭。
- 232 西村宣文 伊勢山田人。住上野桐生。通称猶七郎。初曰、栄枝。号浅墨庵、又、茅清園、連玉亭。
- 233 初山茂平 上野太田人。住下野小俣。以茂平為通称。号壺初亭、又、連草亭。
- 234 須藤宗暁 下野小俣人。通称元輔。号浅星庵、又、壺会楼、連山亭、楨園。
- 235 白王 江戸吉原江戸町玉楼遊女。
- 236 外池真澄 近江日野人。通称太右衛門。号池廼屋、又、綾園。
- 237 加藤蔭直 出羽庄内隱士。通称瑞園。号脩竹園、又、花顛老人。  
(二ノ目錄四ウ)
- 238 村上秋照 下野太田原人。住江戸浅草。通称佐太郎。号稻葉園。
- 239 深沢保清 上野新川人。通称惣右衛門。号壺桓園、又、田見楼。
- 240 (像241)新井細道 同国大間々人。通称半治郎。号茅原亭。
- 241 (像240)星野末繁 同国同郷人。通称茂七。号浅菜庵、又、若草庵。
- 242 岩田一得 江戸靈岸嶋人。通称正八。号壺朝楼、又、千有子。
- 243 青木守照 上野津久田人。通称半兵衛。号壺日園、又、垂斎、鏡園。
- 244 伊都子 同国大間々人。長沢滿雅妻。号壺珀園。
- 245 青山三津磨 同国同郷人。通称賢斎。壺晋廬、又、杏林舎。
- 246 深沢大蔭 同国桐原人。深沢駒寸男。通称善之輔。号壺鳴園。  
(二ノ目錄五才)
- 247 石原真金 同国同郷人。通称八十八。号鑪斎。
- 248 同 畝磨 同国同郷人。通称和介。号壺周楼、又、農珉子。
- 249 藤生高峯 同国同郷人。通称平右衛門。号壺銅楼、又、銀虫亭。

250 星野静波 同国同郷人。星野竜海男。通称要輔。号壺泉楼、又、青陽子。  
右(三ノ目錄五ウ)

〔図版釈文〕

- 169 青木一襲 人みなねさめをときとほとゝきす  
なげや夜ふかきこゑはあたらし(三ノ初オ)  
くからおきてむまやくとまたれけり  
さかはつけんのはなのつかひも(三ノ初ウ)  
霜はらふ羽そてつかれて水鳥の  
ぬるまはなみもさわかさりけり(三ノ二オ)  
たつ鹿のあとよりほかは朝露に  
ぬれぬ所もあらぬ野へ哉(三ノ二ウ)  
霧のまかきに音もへたてす(三ノ三オ)  
軒過る風もみらすくこゝちして  
きよく涼しき青すたれかな(三ノ三ウ)  
ぬは玉のやみ路たとるか郭公  
あとさきわかぬ夜はのひとこゑ(三ノ四オ)  
春そとははしめてしらん初わかかな  
つまれて雪の中いつるとき(三ノ四ウ)  
咲はなのかげにやすらふこゝちせり  
かさしの梅はさえたなからも(三ノ五オ)  
いたゝきの雪きえはてんいつる日の  
光にあたるくる髪(三ノ五ウ)  
うらやまんさかりひさしききくも猶  
千秋かさぬる君かよはひは(三ノ六オ)  
山さとのさひしさいかに都すら  
となりへたつる秋のゆふきり(三ノ六ウ)

- 181 連 女 しら浪にしつ枝あらひていそのまつ  
千とせも色のよこれさるらん(三ノ七オ)  
はる雨のふる日も風のさゆる日も  
こゑはのとけき籠のうくひす(三ノ七ウ)  
にひはりの筑波根みつゝむさし野に  
いく夜もねはやすみれつむとて(三ノ八オ)  
露しけみたましく藪の月かけは  
さなから竹のみやこなりけり(三ノ八ウ)  
人しれぬむくらのやとは罵も  
霞のおくにかくれてそなく(三ノ九オ)  
我庵は誰かはとはん山ふかみ  
道踏まよふ人ならずして(三ノ九ウ)  
岑も尾もひとつ色にてふたつなき  
なかめなりけり雪のふしのね(三ノ十オ)  
野辺ちかき家ゐは籠のうくひすに  
かはんわかかなを朝なくつむ(三ノ十ウ)  
ぬすみけんみち代の桃のふることを  
ためしに花のえたもをらはや(三ノ十一オ)  
梅をほしさを雪とみる春の  
柳はそらのみとりなりけり(三ノ十一ウ)  
さくらかり雲か雪かとみるほとに  
雨ふりかゝるはなのした露(三ノ十二オ)  
ほとゝきすなき行そらあり明の  
月のみや人ねさめにや聞(三ノ十二ウ)  
あまの川いまこそ星はわたるらめ  
かけもたらひのみなそこにみゆ(三ノ十三オ)  
さくら花あかぬなかにわすれ草  
煙もふかて行山路かな(三ノ十三ウ)  
春日野のわか紫の初わらひ

- 196 (目録197) 岡部花雪  
末はしのふともみにたれん (三ノ十四オ)  
わたつみのはるのけしきやあかさらん  
うたふ舟人ともよはふあま (三ノ十四ウ)
- 197 (目録196) 山田徳司  
あひみれはまた暁の露わけて  
かにもかくにも袖そかわかぬ (三ノ十五オ)  
しほらしきふちのはなにはすねものと  
いはるゝまつも身をまかせけり (三ノ十五ウ)
- 198 山田岐英  
瀬をはやみせきとめかたき滝川も  
岩にすかりて水はこほるか (三ノ十六オ)  
いつくより春はきにけんあさかすみ  
にしに東にひまもあらぬを (三ノ十六ウ)
- 199 二瓶小瓶  
みち遠みはねやつかれしとふかりも  
はふかとみゆるむさし野のゝはら (三ノ十七オ)  
はなさかはをらせしとおもふうつき垣  
たかおほふらんしろたへのそて (三ノ十七ウ)
- 200 池田守好  
朧夜の月はつれなきたもにも  
うつりにけりな梅の匂ひは (三ノ十八オ)  
月のいる山をうらみてうしや身は  
鶺鴒かひもしらぬつみつくりつゝ (三ノ十八ウ)
- 201 吉川百潮  
いけのへのまつ姿のめてたきは  
日ことかゝみをみればなるらん (三ノ十九オ)  
へたてなき中をへたつる人めをは  
なきそかなしきへたつるすへも (三ノ十九ウ)  
いまうゑし花も梢したかければ  
をちこち人のしりてとふらむ (三ノ廿オ)
- 202 綾 女  
滝津瀬はへたてゝおなし岩の上に  
しらぬのかくる雲もありけり (三ノ廿ウ)
- 203 白 子
- 204 仮名女
- 205 室田春郷
- 206 嶋田延樹
- 207 池田幹久
- 208 柳沢一棧
- 209 佐藤春舎  
よし野山画にもおよはぬ花かけに  
こゝろうつしてみぬ人もなし (三ノ廿一オ)  
たちならふ松のなみ木を柱にて  
くちん世もなきあまの橋たて (三ノ廿一ウ)
- 210 朽津守綾  
錦木のくつるをなげく涙には  
またわか袖をちたひそめけり (三ノ廿二オ)  
宮人は駒よりさきにつまつかむ  
ふみもなれさるせきの岩角 (三ノ廿二ウ)  
みるかうちにかはりもゆくかあさかほの  
花さへ秋のそら色にして (三ノ廿三オ)
- 211 荒井文一
- 212 朽津綾竹  
しらく咲梅をしみれは難波かた  
つね見る浪の花にまされり (三ノ廿三ウ)  
布引の滝のひゝきもしのふまで  
あしやのさとに衣うつなり (三ノ廿四オ)  
名残おもふこゝろのほかのくまもなし  
あかぬに月のふくるこよひは (三ノ廿四ウ)  
萩すゝきあけなはをらん秋の野へ  
月もをしかも山へかへして (三ノ廿五オ)  
いかにして井はほりかねしむさし野に  
月の水さへちかくみゆるを (三ノ廿五ウ)
- 213 織 子
- 214 青木広嶺
- 215 向田高輶
- 216 矢野里成
- 217 田中浜風
- 218 前原守行
- 219 糸井沖風
- 220 深見廬山
- 221 白梅女
- 222 深見三躬
- 223 井上如流
- はなさけは手折あまれり秋の野辺  
はるはつむにもたらずみえしを (三ノ廿六オ)  
おほそらをかけるはかりそ御狩野や  
雲井にのほる田鶴のはやさも (三ノ廿六ウ)  
ねかへれはぬくるかさしの音そへて  
枕へちかく落るかりかね (三ノ廿七オ)  
水底のかけは藻に住夏むしも  
我からなかくて身やこかすらむ (三ノ廿七ウ)  
夏草は道たゆはかりしけれとも

- 224 外松三顧  
ほたるは庵とはぬ夜もなし(三ノ廿八オ)  
人みなのいのちをおもひわつらひて  
わかむねさへにいためつるかな(三ノ廿八ウ)  
すかたこそ深山かくれのほとゝきす
- 225 市川山橋  
こゑはみやこのはなにまされり(三ノ廿九オ)  
寒からぬ木のした風もさくらにはな  
雪とちる日はみにそしみぬる(三ノ廿九ウ)
- 226 吉橋三雨  
雪とちる日はみにそしみぬる(三ノ廿九ウ)
- 227 権大僧都良賢  
苗代に名におふ滝もせきいれつ  
みのらは老をやしなはんとや(三ノ卅オ)  
雨こひてかはつうたよむ山田には  
しつもちひのたねやまくらむ(三ノ卅ウ)  
宮人もあくかれてゝほとゝきす  
あらぬ雲井のはつ音きくらん(三ノ卅一オ)  
野下して花野はいたくあれしかと  
もとのことくに露は匂へり(三ノ卅一ウ)  
おもひあふいもせを山の名たてにて  
かたみに秋の色そこかるゝ(三ノ卅二オ)  
君かためつむへかりけり人もまた  
ふまぬ雪まの清きわかなは(三ノ卅二ウ)  
君か代の春をことほくことのはや  
まつさく花のはしめなるらん(三ノ卅三オ)  
きゝわかぬいそ枕への小夜ちとり  
さふくてなくやなきてさふしや(三ノ卅三ウ)  
わか身たにわかこゝろにしまかせねは  
人のつらさもなにかうらみん(三ノ卅四オ)  
なつ山にをしかまつらんさつ人も  
ひさをりふせて身をかくしつゝ(三ノ卅四ウ)  
さくら咲はるはみやこの山のはに
- 228 金子躬次  
雨こひてかはつうたよむ山田には  
しつもちひのたねやまくらむ(三ノ卅ウ)
- 229 藤生百蔭  
宮人もあくかれてゝほとゝきす  
あらぬ雲井のはつ音きくらん(三ノ卅一オ)  
野下して花野はいたくあれしかと  
もとのことくに露は匂へり(三ノ卅一ウ)
- 230 布女  
おもひあふいもせを山の名たてにて  
かたみに秋の色そこかるゝ(三ノ卅二オ)  
君かためつむへかりけり人もまた  
ふまぬ雪まの清きわかなは(三ノ卅二ウ)
- 231 稻生波員  
君か代の春をことほくことのはや  
まつさく花のはしめなるらん(三ノ卅三オ)  
きゝわかぬいそ枕への小夜ちとり  
さふくてなくやなきてさふしや(三ノ卅三ウ)  
わか身たにわかこゝろにしまかせねは  
人のつらさもなにかうらみん(三ノ卅四オ)  
なつ山にをしかまつらんさつ人も  
ひさをりふせて身をかくしつゝ(三ノ卅四ウ)
- 232 西村宣文  
君かたためつむへかりけり人もまた  
ふまぬ雪まの清きわかなは(三ノ卅二ウ)
- 233 初山茂平  
君か代の春をことほくことのはや  
まつさく花のはしめなるらん(三ノ卅三オ)  
きゝわかぬいそ枕への小夜ちとり  
さふくてなくやなきてさふしや(三ノ卅三ウ)  
わか身たにわかこゝろにしまかせねは  
人のつらさもなにかうらみん(三ノ卅四オ)  
なつ山にをしかまつらんさつ人も  
ひさをりふせて身をかくしつゝ(三ノ卅四ウ)
- 234 須藤宗暁  
きゝわかぬいそ枕への小夜ちとり  
さふくてなくやなきてさふしや(三ノ卅三ウ)
- 235 遊女白玉<sup>(ママ)</sup>  
わか身たにわかこゝろにしまかせねは  
人のつらさもなにかうらみん(三ノ卅四オ)  
なつ山にをしかまつらんさつ人も  
ひさをりふせて身をかくしつゝ(三ノ卅四ウ)
- 236 外池真澄  
なつ山にをしかまつらんさつ人も  
ひさをりふせて身をかくしつゝ(三ノ卅四ウ)
- 237 加藤蔭直  
さくら咲はるはみやこの山のはに
- 238 村上秋照  
浪よりいつる月をみる哉(三ノ卅五オ)  
玉川はきしのしら浪立そふか  
うつ音たかしさとのきぬたも(三ノ卅五ウ)  
むらすゝき穂わたみたれてかれふしぬ  
雪にはいまた埋みはてぬを(三ノ卅六オ)
- 239 深沢保清  
むらすゝき穂わたみたれてかれふしぬ  
雪にはいまた埋みはてぬを(三ノ卅六オ)
- 240 (目録241) 星野末繁  
たつ田姫立るやいつこうす霧の  
衣かつかぬ秋山もなし(三ノ卅六ウ)
- 241 (目録240) 新井細道  
たらちねのめにかとたてゝいもか聞  
われをいれしとものかわひしさ(三ノ卅七オ)  
豊なる御代のわさとほきこゆなり  
田ことにうたふさをとめの声(三ノ卅七ウ)  
照月のむすはぬ水もかけみれば  
袖ひつはかりすゝしかりけり(三ノ卅八オ)  
あかぬかな岩ほにかゝるふちの花  
天のはころもみるこゝ地して(三ノ卅八ウ)  
紫ははひさすものそつはくらめ  
くろきなか羽はなにゝそめけん(三ノ卅九オ)  
あまの河ちかきわたりもわたつみの  
なみ路はるけく君はおほさん(三ノ卅九ウ)  
ひるたにもをくらきまとにさやかなる  
光かゝけてとふ蜚哉(三ノ四十オ)  
もみち葉に折そへもては松杓の  
いろさへおなしにしきとそみる(三ノ四十ウ)  
とふほたる野中にあまたかけ見えて  
くちぬ草葉の露もひかれり(三ノ四十一終オ)  
ほとゝきすたゝひとこゑにあけぬとは  
月もしらてやなほのこるらん(三ノ四十一終ウ)
- 242 岩田一得  
豊なる御代のわさとほきこゆなり  
田ことにうたふさをとめの声(三ノ卅七ウ)
- 243 青木守照  
照月のむすはぬ水もかけみれば  
袖ひつはかりすゝしかりけり(三ノ卅八オ)
- 244 伊都子  
あかぬかな岩ほにかゝるふちの花  
天のはころもみるこゝ地して(三ノ卅八ウ)
- 245 青山三津磨  
紫ははひさすものそつはくらめ  
くろきなか羽はなにゝそめけん(三ノ卅九オ)
- 246 深沢大蔭  
あまの河ちかきわたりもわたつみの  
なみ路はるけく君はおほさん(三ノ卅九ウ)
- 247 石原真金  
ひるたにもをくらきまとにさやかなる  
光かゝけてとふ蜚哉(三ノ四十オ)
- 248 石原畝磨  
もみち葉に折そへもては松杓の  
いろさへおなしにしきとそみる(三ノ四十ウ)
- 249 藤生高峯  
とふほたる野中にあまたかけ見えて  
くちぬ草葉の露もひかれり(三ノ四十一終オ)
- 250 星野静波  
ほとゝきすたゝひとこゑにあけぬとは  
月もしらてやなほのこるらん(三ノ四十一終ウ)

001大垣市人（二ノ初オ）



004土屋千元（二ノ二ウ）



007柴山国村（二ノ四オ）



010春恵法師（二ノ五ウ）



002大垣守舎（二ノ初ウ）



005茗溪法師（二ノ三オ）



008津田琴繁（二ノ四ウ）



011権律師了明（二ノ六オ）



003黒河春村（二ノ二オ）



006沙弥鶴林（二ノ三ウ）



009梶子（二ノ五オ）



012栄子（二ノ六ウ）



013 宮下道守 (二ノ七才)



014 小楳百枝 (二ノ七ウ)



015 勝田福寿 (二ノ八才)



016 森 広蔭 (二ノ八ウ)



017 田中鳳管 (二ノ九才)



018 奥居庫住 (二ノ九ウ)



019 多賀長住 (二ノ十才)



020 権律師賢瓊 (二ノ十ウ)



021 新嶋高村 (二ノ十一才)



022 中村北麿 (二ノ十一ウ)



023 小森守冬 (二ノ十二才)



024 向後河鳥 (二ノ十二ウ)







049 柳沢春秀 (二ノ二十五才)



052 石原豊村 (二ノ二十六才)



055 吉田芳季 (二ノ二十八才)



058 八巻舎住 (二ノ二十九才)



050 村田元成 (二ノ二十五ウ)



053 高野梅正 (二ノ二十七才)



056 斎藤昌二 (二ノ二十八ウ)



059 渡辺合瀬 (二ノ三十才)



051 高橋守的 (二ノ二十六才)



054 角田秋久 (二ノ二十七ウ)



057 吉田長季 (二ノ二十九才)



060 渡辺浦風 (二ノ三十ウ)



061 大橋伊呂泥 (一ノ三十一才)



062 栗原長秋 (一ノ三十一才)



064 遊女二元 (一ノ三十二才)



065 遊女浅茅生 (一ノ三十三才)



063 黒田豊秋 (一ノ三十二才)



066 菅野哥都住 (一ノ三十三才)



067 大口安長 (一ノ三十四才)



068 石河金由 (一ノ三十四才)



069 三原春繁 (一ノ三十五才)



070 近 春住 (一ノ三十五才)



071 中嶋岸住 (一ノ三十六才)



072 池田守崎 (一ノ三十六才)



073 山本春好 (一ノ三十七才)



074 仁科守久 (一ノ三十七才)



076 磯野茂村 (一ノ三十八才)



077 松川富門 (一ノ三十九才)



079 武田夏海 (一ノ四十才)



080 丹沢折鶴 (一ノ四十才)



082 道子 (一ノ四十一才)



075 大友桐麿 (一ノ三十八才)



078 梶山守海 (一ノ三十九才)



081 春阿法師 (一ノ四十一才)



084 有坂光隆 (一ノ四十二終才)



083 土屋光村 (一ノ四十二終才)





087 鈴木綾主 (二ノ二才)



086 中村春樹 (二ノ初ウ)



085 吉田一朶 (二ノ初才)



090 大橋竹村 (二ノ三ウ)



089 新井守常 (二ノ三才)



088 菅谷広村 (二ノ二ウ)



093 大森真柴 (二ノ五才)



092 和合岸員 (二ノ四ウ)



091 大橋千村 (二ノ四才)



096 菅沢霞人 (二ノ六ウ)



095 斎藤村並 (二ノ六才)



094 河野久住 (二ノ五ウ)

097 清水友俊 (二ノ七才)



098 向後吉正 (二ノ七ウ)



099 向後道文 (二ノ八才)



100 佐藤梅早 (二ノ八ウ)



101 渡辺 静 (二ノ九才)



102 安田岸住 (二ノ九ウ)



103 斎藤清住 (二ノ十才)



104 清野岸光 (二ノ十ウ)



105 糸井作良 (二ノ十一才)



106 高艸木高木 (二ノ十一ウ)



107 鈴木音鷹 (二ノ十二才)



108 鈴木千本 (二ノ十二ウ)





110 白石石居村 (二ノ十四才)



111 三上一臥 (二ノ十三ウ)



109 綾刀自 (二ノ十三才)



114 谷 浜風 (二ノ十五ウ)



113 花香照蔭 (二ノ十五才)



112 村田春種 (二ノ十四ウ)



117 手塚魚米 (二ノ十七才)



116 船城予禄 (二ノ十六ウ)



115 前田喜多住 (二ノ十六才)



120 僧 齋 (二ノ十八ウ)



119 市田皮之 (二ノ十八才)



118 堀田照景 (二ノ十七ウ)

121 専業法師 (二ノ十九才)



122 感 返上 (二ノ十九ウ)



123 物部照庭 (二ノ二十才)



124 河野守弘 (二ノ二十ウ)



125 龜山惟一 (二ノ二十一才)



126 小嶋笹根 (二ノ二十一ウ)



127 菅野楽人 (二ノ二十二才)



128 本多山住 (二ノ二十二ウ)



129 斎藤村住 (二ノ二十三才)



130 柴山里村 (二ノ二十三ウ)



131 末生法師 (二ノ二十四才)



132 河野守弘母 (二ノ二十四ウ)



133 繁子 (二ノ二十五才)



134 倭文刀自 (二ノ二十五ウ)



135 甲田顕雄 (二ノ二十六才)



136 枚山高行 (二ノ二十六ウ)



137 田口守明 (二ノ二十七才)



138 田口国一 (二ノ二十七ウ)



139 竹内直麿 (二ノ二十八才)



140 大邑弘樹 (二ノ二十八ウ)



141 小口弘一 (二ノ二十九才)



142 泰山信元 (二ノ二十九ウ)



143 米川躬鳥 (二ノ三十才)



144 酒井武暉 (二ノ三十ウ)



145 谷野菊見 (二ノ三十一才)



146 河合嶺雄 (二ノ三十一ウ)



147 藤田茂高 (二ノ三十二才)



148 赤荻了村 (二ノ三十二ウ)



149 田中富村 (二ノ三十三才)



150 宮崎若村 (二ノ三十三ウ)



151 柴山岸村 (二ノ三十四才)



152 田口興雄 (二ノ三十四ウ)



153 田口晴雄 (二ノ三十五才)



154 福田近村 (二ノ三十五ウ)



155 池田本蔭 (二ノ三十六才)



156 秋間光弘 (二ノ三十六ウ)





159 高橋満香 (二ノ三十八才)



158 久智市住 (二ノ三十七ウ)



157 浜田長喜 (二ノ三十七才)



162 中嶋龜年 (二ノ三十九ウ)



161 山田守雄 (二ノ三十九才)



160 堀江一章 (二ノ三十八ウ)



165 浄阿居士 (二ノ四十一才)



164 北村春香 (二ノ四十ウ)



163 佐々木晴海 (二ノ四十才)



168 堤 守文 (二ノ四十二終ウ)



167 西村四季見 (二ノ四十二終才)



166 村木楽雄 (二ノ四十一ウ)

169 青木一襲 (三ノ初才)



170 西村仲秋 (三ノ初ウ)



171 浅野鈴庭 (三ノ二才)



172 深谷莉穂 (三ノ二ウ)



173 五十嵐春雄 (三ノ三才)



174 上山羽狩 (三ノ三ウ)



175 湯本五百秋 (三ノ四才)



176 深沢駒寸 (三ノ四ウ)



177 豊田守一 (三ノ五才)



178 小宅文藻 (三ノ五ウ)



179 美余子 (三ノ六才)



180 武川守光 (三ノ六ウ)





183 角田一興 (三ノ八才)



182 都丸宝船 (三ノ七ウ)



181 連女 (三ノ七才)



186 富田永世 (三ノ九ウ)



185 浦野立人 (三ノ九才)



184 浅川魚一 (三ノ八ウ)



189 浅見御世澄 (三ノ十一才)



188 柳沢永俊 (三ノ十ウ)



187 新井玉世 (三ノ十才)



192 小林星照 (三ノ十二ウ)



191 手計俊久 (三ノ十二才)



190 峯下蔭 (三ノ十一ウ)

193 高橋小田時 (三ノ十三才)



194 中沢保世 (三ノ十三ウ)



195 中嶋有員 (三ノ十四才)



196 (目録197) 岡部花雪 (三ノ十四ウ)



197 (目録196) 山田徳司 (三ノ十五才)



198 山田岐英 (三ノ十五ウ)



199 二瓶小瓶 (三ノ十六才)



200 池田守好 (三ノ十六ウ)



201 吉川百潮 (三ノ十七才)



202 綾女 (三ノ十七ウ)



203 白子 (三ノ十八才)



204 仮名女 (三ノ十八ウ)





207 池田幹久 (三ノ廿才)



206 鳴田延樹 (三ノ十九ウ)



205 室田春郷 (三ノ十九才)



210 朽津守綾 (三ノ廿二ウ)



209 佐藤春舎 (三ノ廿二才)



208 柳沢一棧 (三ノ廿ウ)



213 織子 (三ノ廿三才)



212 朽津綾竹 (三ノ廿二ウ)



211 荒井文一 (三ノ廿二才)



216 矢野里成 (三ノ廿四ウ)



215 向田高輅 (三ノ廿四才)



214 青木広嶺 (三ノ廿三ウ)

217 田中浜風 (三ノ廿五才)



218 前原守行 (三ノ廿五ウ)



219 糸井沖風 (三ノ廿六才)



220 深見廬山 (三ノ廿六ウ)



221 白梅女 (三ノ廿七才)



222 深見三躬 (三ノ廿七ウ)



223 井上如流 (三ノ廿八才)



224 外松三顧 (三ノ廿八ウ)



225 市川山橋 (三ノ廿九才)



226 吉橋三雨 (三ノ廿九ウ)



227 権大僧都良賢 (三ノ卅才)



228 金子躬次 (三ノ卅ウ)



229 藤生百蔭 (三ノ冊一才)



230 布 女 (三ノ冊一ウ)



231 稻生波員 (三ノ冊二才)



232 西村宣文 (三ノ冊二ウ)



233 初山茂平 (三ノ冊三才)



234 須藤宗暁 (三ノ冊三ウ)



235 遊女白玉 (三ノ冊四才)



236 外池真澄 (三ノ冊四ウ)



237 加藤蔭直 (三ノ冊五才)



238 村上秋照 (三ノ冊五ウ)



239 深沢保清 (三ノ冊六才)



240 (目録24) 星野末繁 (三ノ冊六ウ)



241(目録240)新井細道(三ノ卅七才)



242岩田一得(三ノ卅七ウ)



243青木守照(三ノ卅八才)



244伊都子(三ノ卅八ウ)



245青山三津麿(三ノ卅九才)



246深沢大蔭(三ノ卅九ウ)



247石原真金(三ノ四十才)



248石原畝麿(三ノ四十ウ)



249藤生高峯(三ノ四十一終才)



250星野静波(三ノ四十一終ウ)



綾成↓	綾刀自↓	綾竹↓	綾園↓	斐園↓	綾女↓	芦仲↓	葦園↓	浅見御世澄↓	浅野鈴庭↓	浅茅生↓	浅川友乘↓	浅川魚一↓	浅川魚一↓	垂斎↓	秋間光弘↓	秋久↓	秋照↓	秋田侯臣↓	秋住↓	顕雄↓	赤荻了村↓	青山三津磨↓	青木守照↓	青木広嶺↓	青木某女↓	青木一襲↓	【あ】	
206 嶋田延樹	109 綾刀自	212 朽津綾竹	236 外池真澄	152 田口興雄	202 綾女	165 浄阿居士	140 大邑弘樹	189 浅見御世澄	171 浅野鈴庭	065 浅茅生	030 浅川友乘	184 浅川魚一	243 青木守照	156 秋間光弘	054 角田秋久	238 村上秋照	172 深谷莉穂	168 堤守文	159 高橋満香	044 新井秋住	135 甲田顕雄	245 青山三津磨	243 青木守照	214 青木広嶺	213 織子	169 青木一襲		
一円斎↓	磯野茂村↓	石原真金↓	石原豊村↓	石原畝磨↓	石河金由↓	池廻屋↓	池田守好↓	池田守崎↓	池田本蔭↓	池田幹久↓	池田一瓶男↓	池田一瓶↓	五十嵐春雄↓	五百秋↓	伊右衛門↓	舍住↓	【い】	安楽亭↓	有坂光隆↓	有員↓	新井守村↓	新井守常↓	新井細道↓	荒井文一↓	新井玉世↓	新井秋住男↓	新井秋住↓	綾主↓
158 久智市住	076 磯野茂村	247 石原真金	052 石原豊村	248 石原畝磨	068 石河金由	236 外池真澄	200 池田守好	072 池田守崎	155 池田本蔭	207 池田幹久	155 池田本蔭	038 池田一瓶	173 五十嵐春雄	175 湯本五百秋	124 河野守弘	058 八卷舍住	165 浄阿居士	084 有坂光隆	195 中嶋有員	045 新井守村	089 新井守常	240(像241) 新井細道	211 荒井文一	187 新井玉世	045 新井守村	044 新井秋住	087 鈴木綾主	
伊平↓	意伯↓	井上如流↓	稲垣某女↓	稲生波員↓	糸成↓	糸井作良↓	糸井沖風↓	逸之助↓	一瓶↓	一得↓	一丁亭↓	一岱↓	一翠園↓	一襲↓	一棧↓	伊都子↓	逸庵↓	市兵衛↓	市人↓	一宮社家↓	一宮志摩守↓	市田皮之↓	一朵↓	市住↓	一塵子↓	市左衛門↓	市川山橋↓	一臥↓
086 中村春樹	135 甲田顕雄	223 井上如流	203 白子	231 稲生波員	025 星野糸成	105 糸井作良	219 糸井沖風	038 池田一瓶	066 菅野歌都住	242 岩田一得	174 上山羽狩	029 関口一岱	153 山口晴雄	169 青木一襲	208 柳沢一棧	244 伊都子	061 大橋伊呂泥	050 村田元成	001 大垣市人	139 竹内直磨	123 物部照庭	119 市田皮之	085 吉田一朵	158 久智市住	131 末生法師	089 新井守常	225 市川山橋	110 三上一臥
永四郎↓	栄枝↓	永三郎↓	英五郎↓	栄子↓	【え】	栄吉↓	【え】	雲我堂↓	烏露廻屋↓	浦野立人↓	浦風↓	梅正↓	梅早↓	梅垣内↓	畝磨↓	疇成↓	宇三郎↓	羽狩↓	魚屋↓	魚来↓	魚一↓	植木守斗↓	右一郎↓	【う】	岩田一得↓	伊呂泥↓	伊兵衛↓	
162 中嶋龜年	232 西村宣文	062 栗原長秋	039 品川夢成	012 栄子	079 武田夏海	033 大矢都水	019 多賀長住	014 谷浜風	185 浦野立人	060 渡辺浦風	053 高野梅正	100 佐藤梅早	086 中村春樹	248 石原畝磨	047 下田疇成	122 感返上	174 上山羽狩	069 三原春繁	117 手塚魚来	184 浅川魚一	028 植木守斗	187 新井玉世	061 大橋伊呂泥	242 岩田一得	021 朽津守綾	052 石原豊村		

栄蔵↓	087 鈴木綾主	小口弘一↓	141 小口弘一	春日社司↓	085 吉田一朶	宗曉↓	234 須藤宗曉
栄兵衛↓	194 中沢保世	小田蒔↓	193 高橋小田蒔	片桐北塙↓	034 片桐北塙	観月窓↓	025 星野糸成
永齡舎↓	049 柳沢春秀	楳亭↓	004 土屋千元	勝右衛門↓	214 青木広嶺	寒月楼↓	034 片桐北塙
曆↓	120 僧曆	音鷹↓	107 鈴木音鷹	勝治郎↓	021 新嶋高村	幹五↓	138 田口国一
越川舎↓	157 浜田長喜	織子↓	213 織子	勝田福寿↓	015 勝田福寿	勤七↓	201 吉川百潮
江利川守枝↓	040 江利川守枝	折鶴↓	080 丹沢折鶴	桂屋↓	004 土屋千元	菅室↓	091 大橋千村
堰蓋楼↓	190 峯下蔭	居村↓	111 白石居村	花田亭↓	169 青木一襲	勤兵衛↓	040 江利川守枝
延樹↓	206 嶋田延樹	【か】	129 斎藤村住	花顛老人↓	237 加藤蔭直	感返上↓	011 権律師了明
円治郎↓	104 清野岸光	檜山亭↓	026 宮下為業	蔭直↓	237 加藤蔭直	観蓮子↓	
【お】		外石子↓	111 白石居村	歌都住↓	066 菅野歌都住	【き】	
鶯鵲↓	221 白梅女	花蔭亭↓	101 渡辺静	仮名女↓	204 仮名女	岐英↓	198 山田岐英
合瀬↓	059 渡辺合瀬	嘉右衛門↓	138 田口国一	金子躬次↓	228 金子躬次	喜右衛門↓	024 向後河鳥
大垣市人↓	001 大垣市人	柯園↓	105 糸井作良	金由↓	068 石河金由	葵園↓	003 黒河春村
大垣守舎↓	002 大垣守舎	花王庵↓	050 村田元成	嘉兵衛↓	206 嶋田延樹	菊園↓	179 美余子
大口安長↓	067 大口安長	花街楼↓	050 村田元成	加保茶園↓	050 村田元成	菊磨↓	031 篠原菊磨
大友桐磨↓	075 大友桐磨	柿園↓	050 村田元成	上山羽狩↓	174 上山羽狩	菊見↓	145 谷郷菊見
大橋伊呂泥↓	061 大橋伊呂泥	嘉吉↓	023 小森守冬	亀吉↓	046 橋本高広	喜三郎↓	130 柴山里村
大橋竹村↓	090 大橋竹村	花鏡亭↓	151 柴山岸村	亀五郎↓	161 山田守雄	岸員↓	092 和合岸員
大橋竹村孫↓	091 大橋千村	鶴庵↓	048 佐藤宣洲	亀年↓	162 中嶋亀年	岸住↓	071 中嶋岸住
大橋千村↓	091 大橋千村	鶴星堂↓	049 柳沢春秀	亀屋↓	172 深谷莉穂	岸光↓	104 清野岸光
大邑弘樹↓	140 大邑弘樹	鶴亭↓	192 小林星照	龜山惟一↓	125 龜山惟一	岸村↓	151 柴山岸村
大森真柴↓	093 大森真柴	蔭直↓	136 杵山高行	哥林亭↓	055 吉田芳季	器水園↓	102 安田岸住
大矢都水↓	033 大矢都水	梶子↓	237 加藤蔭直	珂六↓	162 中嶋亀年	儀蔵↓	079 武田夏海
丘隅↓	017 田中鳳管	嘉七↓	009 梶子	河合嶺雄↓	222 深見三躬	喜多住↓	225 市川山橋
岡部花雪↓	197 (像196) 岡部花雪	楫廼屋↓	128 本多山住	河鳥↓	146 河合嶺雄	喜多住↓	151 柴山岸村
興雄↓	152 田口興雄	夏聚園↓	156 秋間光弘	灌園↓	229 藤生百蔭	北出春人↓	104 清野岸光
沖風↓	219 糸井沖風	一章↓	133 繁子	感久苑↓	172 深谷莉穂	北出春人↓	102 安田岸住
萩園↓	148 赤萩了村	一興↓	160 堀江一章	菅居↓	166 村木楽雄	北村春香↓	079 武田夏海
奥居庫住↓	018 奥居庫住		183 角田一興		179 美余子		115 前田喜多住
					062 栗原長秋		102 安田岸住
							022 中村北磨
							032 北出春人
							164 北村春香

玉柳舎↓	173 五十嵐春雄	庫住↓	018 奥居庫住	兼治郎↓	083 土屋光村	壺街楼↓	066 菅野歌都住
玉鵬亭↓	163 佐々木晴海	久米吉↓	115 前田喜多住	繭糸亭↓	184 浅川魚一	壺会楼↓	234 須藤宗暁
旭亭↓	197(像196) 岡部花雪	国村↓	007 柴山国村	萱室↓	132 河野守弘母	壺解楼↓	099 向後道文
玉椿亭↓	049 柳沢春秀	国輔↓	208 柳沢一棧	源紙園↓	184 浅川魚一	壺海楼↓	022 中村北麿
玉塵楼↓	138 田口国一	国一↓	138 田口国一	源三郎↓	192 小林星照	壺音亭↓	215 向田高輛
玉塵亭↓	160 堀江一章	宮内卿↓	010 春恵法師	賢斎↓	245 青山三津麿	壺澳楼↓	199 二瓶小瓶
玉照亭↓	167 西村四季見	朽津守綾↓	210 朽津守綾	謙斎↓	027 宮下梅侯	壺桜園↓	091 大橋千村
玉卸庵↓	164 北村春香	朽津綾竹↓	212 朽津綾竹	謙吾↓	168 堤守文	壺艶楼↓	061 大橋伊呂泥
曲々亭↓	043 星野竜海	久智市住↓	158 久智市住	玄花亭↓	022 中村北麿	小右衛門↓	145 谷郷菊見
玉測亭↓	162 中嶋亀年	駒寸↓	176 深沢駒寸	賢瑰↓	020 権律師賢瑰	壺英堂↓	031 篠原菊麿
杏林舎↓	245 青山三津麿	葛園↓	135 甲田顕雄	月庵↓	081 春阿法師	紅楓園↓	201 吉川百潮
鏡室↓	133 繁子	草村↓	035 柴山草村	啓迪舎↓	026 宮下為業	河野守弘母↓	132 河野守弘母
教元寺弟智順↓	131 末生法師	【く】	099 向後道文	啓太郎↓	205 室田春郷	河野守弘妻↓	134 倭文刀自
鏡園↓	243 青木守照	金鈴子↓	099 向後道文	慶輔↓	114 谷浜風	河野守弘妹↓	133 繁子
宮明遠↓	013 宮下道守	金風亭↓	186 富田永世	馨枝園↓	155 池田本蔭	河野守弘↓	124 河野守弘
旧珍斎↓	220 深見廬山	銀虫亭↓	249 藤生高峯	詣河堂↓	154 福田近村	河野久住↓	094 河野久住
久治郎↓	142 泰山信元	金蔵↓	186 富田永世	馨花園↓	200 池田守好	甲田顕雄↓	135 甲田顕雄
久五郎↓	054 角田秋久	錦水園↓	075 大友桐麿	桂下園↓	175 湯本五百秋	高雪庵↓	185 浦野立人
穆園↓	124 河野守弘	錦水園↓	118 堀田照景	慶心寺主祐意↓	121 蓴菜法師	孝助↓	217 田中浜風
儀兵衛↓	071 中嶋岸住	董菜園↓	073 山本春好	桂園↓	062 栗原長秋	向後吉正↓	098 向後吉正
喜兵衛↓	032 北出春人	錦吉↓	034 片桐北塙	【け】	099 向後道文	向後河鳥↓	099 向後道文
儀八郎↓	178 小宅文藻	金華苑↓	043 星野竜海	薰風軒↓	099 向後道文	向後河鳥↓	175 湯本五百秋
浅川友乘	174 上山羽狩	桐麿↓	075 大友桐麿	桑廼屋↓	146 河合嶺雄	広吉↓	024 向後河鳥
斎藤村住	030 浅川友乘	喜楽堂↓	120 僧醫	桑園↓	154 福田近村	栲園↓	178 小宅文藻
柴山草村	129 斎藤村住	喜代之助↓	077 松川富門	黒田豊秋↓	063 黒田豊秋	壺員楼↓	108 鈴木木本
佐々木晴海	163 佐々木晴海	清住↓	104 清野岸光	黒河春村妻↓	109 綾刀自	【こ】	200 池田守好
井上如流	223 井上如流	玉楼遊女↓	103 斎藤清住	黒河春村妹↓	042 簀子	源八郎↓	169 青木一襲
佐藤梅早	100 佐藤梅早	玉蓮↓	027 宮下梅侯	栗原長秋↓	062 栗原長秋	源助↓	078 梶山守海

壺学楼	200 池田守好	壺三郎	119 市田皮之	壺僊楼	172 深谷莉穂	壺珀園	244 伊都子
壺菅園	142 泰山信元	壺棧廬	227 權大僧都良賢	壺船楼	219 糸井冲風	木幡侯臣	008 津田琴繁
壺桓園	239 深沢保清	壺山楼	161 山田守雄	壺泉楼	250 星野静波	小林星照	192 小林星照
壺酣楼	118 堀田照景	小嶋笹根	126 小嶋笹根	壺藪園	126 小嶋笹根	壺倭園	018 奥居庫住
壺甑楼	155 池田本蔭	壺酒園	230 布女	五綵園	125 龜山惟一	壺富園	189 浅見御世澄
壺漢亭	210 朽津守綾	壺瀉亭	088 菅谷広村	小宅文藻	178 小宅文藻	壺風楼	071 中嶋岸住
壺澗楼	225 市川山橋	壺秋園	035 柴山草村	小宅文藻女	179 美余子	壺瀆楼	183 角田一興
壺菊楼	094 河野久住	壺聚園	124 河野守弘	壺潭楼	048 佐藤宣洲	壺瀆楼	166 村木楽雄
壺喬楼	190 峯下蔭	壺周楼	248 石原畝磨	壺齋楼	207 池田幹久	壺芳園	135 甲田顕雄
壺輿園	209 佐藤春舎	壺春園	007 柴山国村	壺昶園	046 橋本高広	壺縫園	169 青木一襲
壺業亭	015 勝田福寿	壺勝園	077 松川富門	壺潮子	117 手塚魚来	壺豐楼	095 齋藤村並
壺玉園	137 田口守明	壺松翁	033 大矢都水	壺眺楼	102 安田岸住	駒之丞	048 佐藤宣洲
壺曲亭	116 船城予禄	壺祥亭	057 吉田長季	壺朝楼	242 岩田一得	壺滿楼	205 室田春郷
壺銀楼	107 鈴木音鷹	壺裳亭	013 宮下道守	壺碇楼	039 品川夢成	壺鳴園	246 深沢大蔭
鶴林	006 沙弥鶴林	壺常亭	213 織子	壺汀楼	096 菅沢霞人	壺羽亭	233 羽山茂平
壺珪園	203 白子	壺嘯楼	008 津田琴繁	壺冬園	036 野口雪村	小森守冬	023 小森守冬
壺溪楼	103 齋藤清住	壺松楼	016 森広蔭	壺濤園	060 渡辺浦風	壺遊亭	080 丹沢折鶴
壺月堂	158 久智市住	壺翔楼	136 杵山高行	壺稻園	063 黒田豊秋	壺葉亭	214 青木広嶺
壺絃楼	075 大友桐磨	壺丈楼	029 関口一岱	壺蒲園	188 柳沢永俊	五葉亭	143 米川躬鳥
壺琿庵	171 浅野鈴庭	壺晋廬	245 青山三津磨	吾道堂	159 高橋満香	壺謡楼	101 渡辺静
壺耕園	193 高橋小田蒔	壺随園	111 白石居村	壺道楼	218 前原守行	壺翼園	051 高橋守的
壺江園	222 深見三躬	壺水楼	104 清野岸光	壺銅楼	228 金子躬次	壺榮亭	070 近春住
壺高窓	045 新井守村	小椋百枝	014 小椋百枝	琴繁	249 藤生高峯	壺栗園	062 栗原長秋
壺縞亭	212 朽津綾竹	壺聖園	194 中沢保世	壺南園	008 津田琴繁	壺笠楼	053 高野梅正
壺々山人	001 大垣市人	壺征楼	072 池田守崎	壺日園	100 佐藤梅早	壺柳園	011 権律師了明
壺々亭	003 黒河春村	壺清楼	145 谷郷菊見	壺日園	243 青木守照	壺竜園	049 柳沢春秀
壺柴楼	067 大口安長	壺昔園	131 未生法師	壺梅園	040 江利川守枝	壺涼亭	030 浅川友乘
壺彩楼	229 藤生百蔭	壺潜亭	211 荒井文一	壺唄楼	223 井上如流	壺輪楼	106 高艸木高木
小左衛門	199 二瓶小瓶	壺川楼	157 浜田長喜	壺薄園	025 星野系成	壺玲楼	177 豊田守一

惟一↓	125 亀山惟一	佐那伎廻屋↓	125 亀山惟一	篠原菊麿↓	031 篠原菊麿	春柴園↓	150 宮崎若村
五郎↓	007 柴山国村	左平↓	191 手計俊久	柴山岸村↓	151 柴山岸村	尊業法師↓	121 尊業法師
壺醪亭↓	028 植木守斗	左門↓	008 津田琴繁	柴山草村↓	035 柴山草村	春秋亭↓	077 松川富門
権右衛門↓	153 田口晴雄	三雨↓	226 吉橋三雨	柴山国村↓	007 柴山国村	春宵園↓	009 梶子
権大僧都良賢↓	227 権大僧都良賢	山橋↓	225 市川山橋	柴山国村弟↓	130 柴山里村	春抄園↓	159 高橋満香
近春住↓	070 近春住	三顧↓	224 外松三顧	柴山里村↓	130 柴山里村	春翠園↓	014 小相百枝
権兵衛↓	038 池田一瓶	三五亭↓	075 大友桐麿	治平↓	003 黒河春村	春節園↓	052 石原豊村
権律師賢瓊↓	020 権律師賢瓊	三笑↓	220 深見廬山	治兵衛↓	018 奥居庫住	春窓園↓	160 堀江一章
権律師了明↓	011 権律師了明	山多楼↓	105 糸井作良	嶋田延樹↓	206 嶋田延樹	峻洞↓	195 中嶋有員
【次】		三平↓	015 勝田福寿	志摩守↓	123 物部照庭	淳朴園↓	058 八卷舍住
斎藤清住↓	103 斎藤清住	三浦軒↓	072 池田守崎	清水友俊↓	097 清水友俊	春野亭↓	140 大邑弘樹
斎藤昌二↓	056 斎藤昌二	三躬↓	222 深見三躬	下田疇成↓	047 下田疇成	春融園↓	007 柴山国村
斎藤村住↓	129 斎藤村住	三明舎↓	153 田口晴雄	沙弥鶴林↓	006 沙弥鶴林	春邑園↓	082 道子
斎藤村並↓	095 斎藤村並	三有舎↓	097 清水友俊	楸園↓	137 田口守明	春綾園↓	037 林女
左衛門輔↓	085 吉田一朶	【】	022 中村北麿	拾玉亭↓	137 田口守明	春路園↓	098 向後吉正
酒井武暉↓	144 酒井武暉	滋右衛門↓	094 河野久住	秋香亭↓	035 柴山草村	浄阿居士↓	165 浄阿居士
佐吉↓	164 北村春香	治右衛門↓	167 西村四季見	周助↓	197(像) 岡部花雪	昌庵↓	063 黒田豊秋
左京↓	143 米川躬鳥	四季見↓	090 大橋竹村	脩竹園↓	237 加藤蔭直	浄右衛門↓	105 糸井作良
作良↓	105 糸井作良	此君堂↓	076 磯野茂村	周兵衛↓	193 高橋小田蒔	定右衛門↓	157 浜田長喜
桜木廻屋↓	111 白石居村	茂村↓	133 繁子	守水亭↓	141 小口弘一	常原亭↓	093 大森真柴
桜戸姫↓	132 河野守弘母	繁子↓	147 藤田茂高	手枕亭↓	138 田口国一	祥斎↓	053 高野梅正
佐々木晴海↓	163 佐々木晴海	茂高↓	101 渡辺静	春阿法師↓	039 品川夢成	昌二↓	056 斎藤昌二
笹根↓	126 小嶋笹根	静↓	250 星野静波	春雨亭↓	081 春阿法師	庄七↓	167 西村四季見
佐二兵衛↓	095 斎藤村並	静波↓	190 峯下蔭	春栄堂↓	134 倭文刀自	松寿園↓	116 船城予祿
佐藤梅早↓	100 佐藤梅早	下蔭↓	025 星野系成	春恵法師↓	015 勝田福寿	松々園↓	081 春阿法師
佐藤宣洲↓	048 佐藤宣洲	七左衛門↓	021 新嶋高村	春鶯園↓	010 春恵法師	松々園室↓	009 梶子
佐藤春舎↓	209 佐藤春舎	七柏斎↓	059 渡辺合瀬	春花園↓	008 津田琴繁	少々妻廻屋↓	042 簀子
里成↓	216 矢野里成	之通観↓	039 品川夢成	春興園↓	012 栄子	庄治郎↓	056 斎藤昌二
里村↓	130 柴山里村	品川夢成↓			130 柴山里村	莊蔵↓	117 手塚魚米







野口雪村↓	036 野口雪村	花香照蔭↓	113 花香照蔭	一元↓	064 一元	船城予禄↓	116 船城予禄
信元↓	142 泰山信元	花雪↓	197(像196) 岡部花雪	冰踊斎↓	048 佐藤宣洲	文一↓	211 荒井文一
範平↓	013 宮下道守	浜風↓	114 谷浜風	広蔭↓	016 森広蔭	富門↓	077 松川富門
【は】				弘一↓	141 小口弘一	芙蓉亭↓	152 田口興雄
梅侯↓	027 宮下梅侯	浜田長喜↓	217 田中浜風	弘樹↓	140 大邑弘樹	文右衛門↓	058 八卷舍住
萩園↓	093 大森真柴	晴雄↓	157 浜田長喜	広嶺↓	214 青木広嶺	文左衛門↓	216 矢野里成
白雲堂↓	044 新井秋住	春雄↓	153 田口晴雄	広村↓	088 菅谷広村	文藻↓	178 小宅文藻
柏園↓	015 勝田福寿	春香↓	173 五十嵐春雄	【ふ】		文楼遊女↓	064 一元
白王↓	021 新嶋高村	春樹↓	164 北村春香	楓園↓	111 白石居村		065 浅茅生
白蓋堂↓	010 春恵法師	春繁↓	086 中村春樹	深沢駒寸↓	176 深沢駒寸	【へ】	
薄斎↓	003 黒河春村	春住↓	069 三原春繁	深沢駒寸男↓	246 深沢大蔭	平右衛門↓	249 藤生高峯
白雀亭↓	076 磯野茂村	春種↓	070 近春住	深沢大蔭↓	246 深沢大蔭	平司↓	148 赤荻了村
帛水亭↓	151 柴山岸村	春舍↓	112 村田春種	深沢保清↓	239 深沢保清	兵内↓	043 星野竜海
白梅女↓	221 白梅女	春人↓	209 佐藤春舎	深沢三躬↓	222 深見三躬	返上↓	047 下田疇成
白風園↓	045 新井守村	晴海↓	032 北出春人	深見三躬家↓	226 吉橋三雨	【ほ】	122 感返上
白葉↓	045 新井守村	春村↓	163 佐々木晴海	深見廬山↓	220 深見廬山	芳雲楼↓	152 田口興雄
柏葉庵↓	171 浅野鈴庭	春好↓	003 黒河春村	深見廬山妻↓	221 白梅女	茅檐楼↓	218 前原守行
白蓮舎↓	220 深見廬山	繁右衛門↓	073 山本春好	深見廬山男↓	222 深見三躬	鳳管↓	017 田中鳳管
馬見岡↓	051 高橋守的	半治郎↓	126 小嶋笹根	深谷荊穂↓	172 深谷荊穂	茅菊園↓	203 白子
巴蓋亭↓	086 中村春樹	半兵衛↓	240(像241) 新井細道	福嶋侯臣↓	074 仁科守久	茅曲園↓	
橋本高広↓	046 橋本高広	【ひ】	027 宮下梅侯	福成寺主↓	011 権律師了明	芳桂園↓	212 朽津綾竹
巴人亭↓	001 大垣市人	榎扇屋↓	243 青木守照	福田近村↓	154 福田近村	芳錦園↓	141 小口弘一
波静堂↓	087 鈴木綾主	彦三郎↓	067 大口安長	福寿↓	015 勝田福寿	望月園↓	156 秋間光弘
長谷川某女↓	189 浅見御世澄	彦太郎↓	225 市川山橋	藤生高峯↓	249 藤生高峯	望月館↓	156 秋間光弘
八十郎↓	202 綾女	彦兵衛↓	004 土屋千元	藤生百蔭↓	229 藤生百蔭	望月亭↓	123 物部照庭
八兵衛↓	080 丹沢折鶴	久住↓	093 大森真柴	藤園↓	153 田口晴雄	茅原亭↓	240(像241) 新井細道
八郎治↓	155 池田本蔭	皮之↓	094 河野久住	藤田茂高↓	147 藤田茂高	茅虹園↓	046 橋本高広
			119 市田皮之	不醉↓	055 吉田芳季	鳳洲↓	020 権律師賢瓊
				二葉庵↓	191 手計俊久	茅秋園↓	213 織子

茅水園↓	048 佐藤宣洲	牡丹園↓	149 田中富村	道守猶子↓	027 宮下梅侯	村田春種↓	112 村田春種
茅星園↓	054 角田秋久	堀田照景↓	118 堀田照景	満香↓	159 高橋満香	村田元成↓	050 村田元成
茅清園↓	232 西村宣文	堀江一章↓	160 堀江一章	躬次↓	228 金子躬次	村並↓	095 齋藤村並
芳蔵↓	173 五十嵐春雄	本多山住↓	128 本多山住	光隆↓	084 有坂光隆	室田春郷↓	205 室田春郷
茅艸園↓	108 鈴木千本	【ま】	115 前田喜多住	光弘↓	156 秋間光弘	室田守郷↓	041 室田守郷
茅棕園↓	202 綾女	前田喜多住↓	218 前原守行	三津磨↓	245 青山三津磨	室田守郷男↓	205 室田春郷
茅他園↓	211 荒井文一	前原守行↓	247 石原真金	光村↓	083 土屋光村	【め】	005 茗溪法師
宝田園↓	058 八卷舍住	真金↓	234 須藤宗暁	躬鳥↓	143 米川躬鳥	茗溪法師↓	224 外松三顧
茅風園↓	210 朽津守綾	楨園↓	026 宮下為業	嶺雄↓	146 河合嶺雄	命明楼↓	048 佐藤宣洲
茅文園↓	089 新井守常	孫兵衛↓	057 吉田長季	峯越方男↓	190 峯下蔭	愛滝楼↓	
茅浦楼↓	219 糸井沖風	政右衛門↓	098 向後吉正	峯下蔭↓	190 峯下蔭	【も】	
芳野山人↓	227 権大僧都良賢	真柴↓	093 大森真柴	峯之↓	227 権大僧都良賢	茂七↓	241(像240) 星野末繁
芳野亭↓	153 田口晴雄	舛廼屋↓	192 小林星照	簀子↓	042 簀子	文字楼↓	050 村田元成
茅遊園↓	155 池田本蔭	真澄↓	236 外池真澄	簀治郎↓	112 村田春種	持田某母↓	181 連女
茅輪園↓	217 田中浜風	又十郎↓	103 斎藤清住	三原春繁↓	069 三原春繁	木公舎↓	147 藤田茂高
茅露園↓	078 梶山守海	又太郎↓	044 新井秋住	宮崎若村↓	150 宮崎若村	本蔭↓	003 黒河春村
北塙↓	034 片桐北塙	松川富門↓	077 松川富門	宮下為業↓	026 宮下為業		155 池田本蔭
牧斎↓	006 沙弥鶴林	松蔵↓	061 大橋伊呂泥	宮下梅侯↓	027 宮下梅侯	元祐↓	031 篠原菊麿
北鉞子↓	088 菅谷広村	松原某女↓	230 布女	宮下道守↓	013 宮下道守	元輔↓	234 須藤宗暁
北溟舎↓	006 沙弥鶴林	万太郎↓	150 宮崎若村	宮下道守猶子↓	027 宮下梅侯	元成↓	050 村田元成
墨用廬↓	001 大垣市人	【み】	110 三上一臥	美余子↓	179 美余子	物部照庭↓	123 物部照庭
鉾廼屋↓	091 大橋千村	三上一臥↓	207 池田幹久	御世澄↓	189 浅見御世澄	茂平↓	233 初山茂平
星照↓	192 小林星照	幹久↓	082 道子	【む】	013 宮下道守	初山茂平↓	233 初山茂平
星野糸成↓	025 星野糸成	未生法師↓	131 未生法師	無玄斎↓	215 向田高輛	百枝↓	014 小相百枝
星野静波↓	250 星野静波	道子↓	099 向後道文	向田高輛↓	238 村上秋照	百蔭↓	229 藤生百蔭
星野末繁↓	241(像240) 星野末繁	道文↓	006 沙弥鶴林	村上秋照↓	166 村木楽雄	百潮↓	201 吉川百潮
星野竜海↓	043 星野竜海	三千尋↓	013 宮下道守	村木楽雄↓	165 浄阿居士	守明↓	137 田口守明
星野竜海男↓	250 星野静波	道守↓	009 向後道文	村木楽雄父↓	129 斎藤村住	守綾↓	210 朽津守綾
細道↓	240(像241) 新井細道	道守↓	013 宮下道守	村住↓		守海↓	078 梶山守海

守枝↓	040 江利川守枝	安五郎↓	072 池田守崎	有隣↓	011 権律師了明	蘭室↓	146 河合嶺雄
守雄↓	161 山田守雄	安治郎↓	067 大口安長	雪村↓	036 野口雪村	【り】	140 大邑弘樹
守一↓	177 豊田守一	安田岸住↓	102 安田岸住	夢成↓	039 品川夢成	利右衛門↓	215 向田高鞆
守崎↓	072 池田守崎	安長↓	067 大口安長	湯本五百秋↓	175 湯本五百秋	陸右衛門↓	226 吉橋三雨
守郷↓	041 室田守郷	保世↓	194 中沢保世	【よ】	与市↓	利七↓	044 新井秋住
守常↓	089 新井守常	八十八↓	247 石原真金	与市↓	127 菅野楽人	律調子↓	107 鈴木音鷹
森鶴村男↓	016 森広蔭	柳沢一棧↓	208 柳沢一棧	陽玉園↓	068 石河金由	利八↓	055 吉田芳季
守照↓	243 青木守照	柳沢永俊↓	188 柳沢永俊	鑼斎↓	247 石原真金	利兵衛↓	081 春阿法師
守斗↓	028 植木守斗	柳沢春秀↓	049 柳沢春秀	要輔↓	250 星野静波	竜海↓	055 吉田芳季
守久↓	074 仁科守久	柳沢春秀弟↓	208 柳沢一棧	与作↓	146 河合嶺雄	隆朔↓	224 外松三顧
守弘↓	124 河野守弘	矢野里成↓	216 矢野里成	吉川百潮↓	201 吉川百潮	隆山↓	001 大垣市人
森広蔭↓	016 森広蔭	八卷舍住↓	058 八卷舍住	芳季↓	055 吉田芳季	竜枝園↓	208 柳沢一棧
守文↓	168 堤守文	山住↓	128 本多山住	吉田一朶↓	085 吉田一朶	竜碩↓	149 田中富村
守冬↓	023 小森守冬	山田岐英↓	198 山田岐英	吉田長季↓	057 吉田長季	竜眼閣↓	220 深見廬山
守瓶↓	155 池田本蔭	山田徳司↓	196(像) 山田徳司	吉田芳季↓	055 吉田芳季	柳々館↓	070 近春住
守的↓	051 高橋守的	山田守雄↓	161 山田守雄	吉田吉利二男↓	057 吉田長季	良賢↓	227 権大僧都良賢
守路↓	015 勝田福寿	山田舎↓	047 下田疇成	吉田吉利男↓	055 吉田芳季	良輔↓	118 堀田照景
守光↓	180 武川守光	山滝水↓	196(像) 山田徳司	吉橋三雨↓	226 吉橋三雨	了村↓	148 赤荻了村
守村↓	045 新井守村	山本春好↓	073 山本春好	葎人↓	096 菅沢葎人	了明↓	011 権律師了明
守舎↓	002 大垣守舎	【ゆ】	【ゆ】	吉正↓	098 向後吉正	緑毛斎↓	188 柳沢永俊
守行↓	218 前原守行	勇七↓	045 新井守村	米川躬鳥↓	143 米川躬鳥	旅月堂↓	181 連女
守好↓	200 池田守好	猶七郎↓	232 西村宣文	米沢侯臣↓	070 近春住	鱗岡↓	177 豊田守一
【や】	106 高艸木高木	雄蔵↓	228 金子躬次	予禄↓	116 船城予禄	林左衛門↓	170 西村仲秋
弥五右衛門↓	176 深沢駒寸	雄蔵↓	090 大橋竹村	【ら】	166 村木楽雄	林女↓	037 林女
弥五左衛門↓	152 田口興雄	勇之丞↓	188 柳沢永俊	楽雄↓	069 三原春繁	麗沖子↓	048 佐藤宣洲
弥治兵衛↓	070 近春住	祐之助↓	159 高橋満香	楽盞亭↓	127 菅野楽人	玲々舎↓	107 鈴木音鷹
安右衛門↓	190 峯下蔭	有梅庵↓	110 三上一臥	楽人↓	208 柳沢一棧	連栄亭↓	203 白子
保清↓	239 深沢保清	勇馬↓	076 磯野茂村	蘭園↓	038 池田一瓶	連玉亭↓	232 西村宣文

廉斎↓	139
簾作↓	111
連山亭↓	234
連草亭↓	233
連葉庵↓	069
【ろ】	
潦亭↓	155
芦鶴亭↓	019
六蔵亭↓	023
六兵衛↓	028
廬山↓	220
六花園↓	178
【わ】	
隈水子↓	059
若草庵↓	241
若村↓	(像 <sup>240</sup> )
和合岸員↓	150
業増↓	092
和介↓	159
渡辺浦風↓	248
渡辺合瀬↓	060
渡辺静↓	059
渡辺光俊男↓	101
倭文刀白↓	059
倭文家↓	134
	045
	241
	(像 <sup>240</sup> )
	059
	178
	220
	028
	023
	019
	155
	121
	069
	233
	234
	111
	139